

学校法人 兵庫医科大学

2021 年度 事業報告書



EMPOWER THE PEOPLE

心に響く医を、私たちがいるかぎり

～建学の精神～

社会の福祉への奉仕

人間への深い愛

人間への幅の広い科学的理解

目 次

I. 法人の概要

1. 沿 革	1
2. 設置する学校・学部・学科等	2
3. キャンパスの所在地	3
4. 役員・評議員・教職員	4
5. 組 織	7
6. 関 連 法 人	10

II. 事業の概要

1. 2021年度事業計画(重点施策)と達成状況	11
2. 法 人	17
3. 西宮キャンパス 大学	27
4. 西宮キャンパス 病院	32
5. 篠山キャンパス	35
6. 神戸キャンパス	38

III. 財務の概要

1. 2021年度の決算概要	44
2. 事業活動収支計算書	46
3. 資金収支計算書	48
4. 貸借対照表	49
5. 主要な財務比率の推移	50
6. キャッシュ・フローの推移	52
7. 財 産 目 録	53
8. 監 査 報 告 書	54

I 法人の概要

1. 沿革

1971年	11月	学校法人兵庫医科大学寄附行為認可及び兵庫医科大学設置認可
1972年	4月	兵庫医科大学開学(入学定員 医学部 100名)
	4月	兵庫医科大学病院開設
1973年	8月	病院棟(1号館)完成
1974年	4月	中央動物実験棟(7号館)完成
	8月	校舎、講堂(3号館)完成
1978年	3月	兵庫医科大学大学院医学研究科設置認可
1980年	2月	病院・研究棟(8号館)完成
	8月	兵庫医科大学 ドイツ連邦共和国ザールランド大学との学術交流に関する協定を締結
1981年	11月	鳴尾浜総合グラウンド完成
1984年	4月	研究棟(9号館)完成
1994年	3月	兵庫医科大学病院 特定機能病院に指定
1995年	1月	阪神・淡路大震災 被災
1996年	10月	兵庫医科大学病院 災害拠点病院に指定
	11月	兵庫医科大学病院 エイズ拠点病院に指定
1997年	4月	先端医学研究所開設
	10月	兵庫医科大学篠山病院開設
	11月	立体駐車場完成
1999年	6月	兵庫医科大学リハビリテーションセンター開設
	9月	兵庫医科大学ささやま老人保健施設開設
	11月	兵庫医科大学 中華人民共和国汕頭大学医学院との学術交流に関する協定を締結
2000年	3月	病院棟(10号館)完成(開学25周年記念事業)
2001年	4月	兵庫医科大学附属看護専門学校開校
2004年	3月	兵庫医科大学 大学基準協会の相互評価により、大学基準適合の認定
2005年	3月	平成記念会館完成(開学30周年記念事業)
	12月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(Ver.4)の認定
2006年	3月	兵庫医科大学 中華人民共和国天津医科大学との学術交流に関する協定締結
	11月	学校法人兵庫医科大学寄附行為変更認可及び兵庫医療大学設置認可
	11月	兵庫医科大学病院 PET センター開設
2007年	4月	兵庫医療大学開学 (入学定員 薬学部 150名、看護学部 100名、リハビリテーション学部 80名)
	7月	兵庫医科大学 関西学院大学との学術交流に関する包括協定締結
	7月	兵庫医科大学病院 兵庫県エイズ治療中核拠点病院に指定
	10月	兵庫医科大学 クロアチア共和国 Rijeka 大学医学部との学術交流に関する協定締結
2008年	2月	兵庫医科大学病院 地域がん診療連携拠点病院に指定
	4月	兵庫医科大学病院 肝疾患診療連携拠点病院に指定
	7月	学校法人兵庫医科大学 篠山市と兵庫医科大学篠山病院の運営と整備に関する基本協定を締結
2009年	3月	兵庫医科大学附属看護専門学校開校
	3月	兵庫医療大学 体育館 完成
	4月	兵庫医科大学 緊急医師確保対策として2名、「骨太の方針2008」により8名増員となり、入学定員は110名となる
	4月	兵庫医科大学病院 兵庫県認知症疾患医療センターに指定
2010年	6月	兵庫医科大学ささやま医療センター開院(兵庫医科大学篠山病院を改称)
	12月	兵庫医療大学大学院看護学研究科及び医療科学研究科設置認可
	12月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(Ver.6)の認定
2011年	3月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
2012年	11月	兵庫医療大学大学院薬学研究科設置認可
	11月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院 設立
	11月	兵庫医科大学 アメリカ合衆国カリフォルニア大学サンディエゴ校と学術交流に関する基本合意書を締結
	12月	兵庫医科大学病院 急性医療総合センター完成(開学40周年記念事業)

2013 年	3 月	兵庫医療大学 大学基準協会の認証評価により、大学基準適合の認定
2013 年	5 月	兵庫医科大学 ブルガリア共和国ソフィア医科大学との学術交流に関する協定を締結
	12 月	兵庫医科大学ささやま医療センター 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.1.0 一般病院 1)の認定
2014 年	3 月	兵庫医療大学 オーストラリア連邦アデレード大学と学術交流に関する基本合意書を締結
	4 月	兵庫医科大学 研究医養成枠として 2 名増員し、入学定員は 112 名となる
2015 年	4 月	兵庫医科大学 健康医学クリニック開設
	4 月	兵庫医療大学 社学連携推進機構設置
2016 年	1 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター開設
	2 月	兵庫医科大学病院 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.1.1)の認定
	3 月	学校法人兵庫医科大学 篠山市との土地交換契約を締結
	12 月	ドイツ連邦共和国ビュルツブルグ大学医学部と学術交流協定を締結
2017 年	11 月	兵庫医科大学 教育研究棟 完成
2018 年	2 月	兵庫医科大学病院 兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院に指定
	3 月	兵庫医科大学 大学基準協会の認証評価により大学基準適合の認定
	6 月	学校法人兵庫医科大学 篠山市との病院運営継続の基本協定を締結
2019 年	2 月	兵庫医科大学ささやま医療センター 日本医療機能評価機構より病院機能評価(3rdG:Ver.2.0 一般病院 1)及びリハビリテーション病院(副機能)の認定
2019 年	4 月	兵庫医科大学病院 兵庫県難病診療連携拠点病院に指定
2019 年	8 月	兵庫医科大学ささやま居宅サービスセンター 厚生労働省より「機能強化型訪問看護ステーション(機能強化型訪問看護管理療養費 3)」の認定
2019 年	9 月	兵庫医科大学病院 がんゲノム医療拠点病院に指定
2021 年	3 月	新立体駐車場・デッキ棟完成
2022 年	2 月	兵庫医科大学 日本医学教育評価機構により医学教育分野別評価基準 Ver.2.32 の認定
2022 年	2 月	学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院 閉院

2. 設置する学校・学部・学科等(2021 年 4 月 1 日現在)

学 校 名	学部・学科等名	入学定員	2021年度 入学者数	収容定員	現 員
兵庫医科大学 (学長:野口光一) 1972 年 4 月開学	大学院 医学研究科	60	42	240	222
	医学部 医学科	112	112	672	705
兵庫医療大学 (学長:藤岡宏幸) 2007 年 4 月開学	大学院 薬学研究科	3	1	12	8
	大学院 看護学研究科	8	6	16	20
	大学院 医療科学研究科	8	9	16	22
	薬学部 医療薬学科	150	121	900	882
	看護学部 看護学科	100	114	400	426
	リハビリテーション学部 理学療法学科	40	48	160	185
	リハビリテーション学部 作業療法学科	40	42	160	177

3. キャンパスの所在地

学校法人兵庫医科大学

西宮キャンパス	兵庫県西宮市武庫川町 1 番 1 号 (〒663-8501) 兵庫医科大学 医学部 医学科 大学院 医学研究科 兵庫医科大学病院
篠山キャンパス	兵庫県丹波篠山市黒岡 5 番地 (〒669-2321) 兵庫医科大学 ささやま医療センター 兵庫県丹波篠山市黒岡 36 番地 (〒669-2321) 兵庫医科大学 ささやま老人保健施設 ささやま居宅サービスセンター
神戸キャンパス	兵庫県神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6 (〒650-8530) 兵庫医療大学 薬学部 医療薬学科 看護学部 看護学科 リハビリテーション学部 理学療法学科 リハビリテーション学部 作業療法学科 大学院 薬学研究科 大学院 看護学研究科 大学院 医療科学研究科



4. 役員・評議員・教職員

○ 役員（2022年3月31日現在）

理事【定員 17～19名・現員 18名】

現 職	氏 名	常勤・ 非常勤の別	就任年月日	担 当 業 務
理事長	太 城 力 良	常 勤	2005.6.1	総括
常務理事	西 岡 清	〃	2016.4.1	経営企画・管理(予算を含む) 病院事業の統括 危機管理(統括、西宮キャンパス)
兵庫医科大学 学長	野 口 光 一	〃	2009.4.1	兵庫医科大学の運営、渉外 情報システム統括 ダイバーシティ推進、50周年記念事業
兵庫医療大学 学長	藤 岡 宏 幸	〃	2019.4.1	兵庫医療大学の運営、渉外 兵庫医療大学教育改革全般
兵庫医科大学病院長・ 兵庫医科大学副学長	阪 上 雅 史	〃	2016.4.1	大学病院の運営、渉外、医療人育成統 括、健康医学クリニック、臨床研究 募金、基金
兵庫医科大学教授・副学長・ 医療人育成研修センター長	鈴木敬一郎	〃	2013.4.1	医学教育、広報統括、 二大学統合問題担当
兵庫医科大学教授・ 兵庫医科大学病院副院長	西 信 一	〃	2019.4.1	危機管理(統括、西宮キャンパス) 新病院の企画
兵庫医科大学教授・副学長 兵庫医科大学病院副院長	三 輪 洋 人	〃	2016.4.1	国際交流全般、孔子学院の運営
ささやま医療センター病院長	片 山 覚	〃	2019.4.1	篠山キャンパスの運営
ささやま医療センター看護部長・ 副院長	山 田 明 美	〃	2015.4.1	法人の看護業務統括 危機管理(篠山キャンパス)
兵庫医療大学教授・副学長	前 田 初 男	〃	2016.4.1	兵庫医療大学の研究推進 兵庫医療大学の社会学連携 危機管理(神戸キャンパス)
常勤理事	松 村 昭 夫	〃	2019.4.1	総務、人事、財務、物流 コンプライアンス 経営企画・管理(予算を含む)副担当
清水クリニック院長・ 兵庫医科大学 後援会会長	清水聡一郎	非常勤	2019.4.1	
兵庫県医師会 会長・ 空地内科院 院長	空 地 顕 一	〃	2016.7.29	
協和会グループ 会長	木 曾 賢 造	〃	2014.4.1	
兵庫県健康福祉部 健康局 健康局長	味木和喜子	〃	2019.6.1	
東日本税理士法人 税理士	夏 莉 千 晶	〃	2019.4.1	
弁護士	木 内 道 祥	〃	2020.9.1	

監 事【定員 2～3名・現員 3名】

現 職	氏 名	常勤・ 非常勤の別	就任年月日
常勤監事	森 田 泰 夫	常 勤	2019.4.1
済生会神奈川支部 支部長・常務理事	正 木 義 博	非常勤	2018.12.1
公認会計士	後 藤 研 了	〃	2021.4.1

1. 責任限定契約の締結について

本法人は、私立学校法及び本法人寄附行為 第49条の規定に基づき、非業務執行理事等との間で責任限定契約を締結している。

2. 役員賠償責任保険の締結について

本法人は、被保険者の範囲を理事・監事とする役員賠償責任保険契約を締結している。学校法人や第三者訴訟等により、被保険者が負担することとなる訴訟費用及び損害賠償金等を填補の対象としている。

○ 評議員（2022 年 3 月 31 日現在）

評議員【定員 39～44 名・現員 41 名】

氏 名	主 な 現 職
太 城 力 良	理事長
西 岡 清	常務理事
野 口 光 一	兵庫医科大学 学長
藤 岡 宏 幸	兵庫医療大学 学長
阪 上 雅 史	兵庫医科大学病院長・兵庫医科大学 副学長
鈴木敬一郎	兵庫医科大学教授・副学長・医療人育成研修センター長
小 山 英 則	兵庫医科大学教授・副学長
三 輪 洋 人	兵庫医科大学教授・副学長・兵庫医科大学病院副院長
山 田 明 美	ささやま医療センター看護部長・副院長
片 山 覚	ささやま医療センター病院長
西 信 一	宝塚市立病院 総長
長谷川誠紀	兵庫医科大学教授・学生部長・兵庫医科大学病院副院長
飯 島 尋 子	兵庫医科大学教授
石 戸 聡	兵庫医科大学教授・教務部長
池 内 浩 基	兵庫医科大学教授・副学長・兵庫医科大学病院副院長
丸山美津子	看護部長・兵庫医科大学病院副院長
大 柳 光 正	健康医学クリニック院長
佐々木周一	事務局長
前 田 初 男	兵庫医療大学教授・副学長
田 中 稔 之	兵庫医療大学教授・薬学部長
川口浩太郎	兵庫医療大学教授
網 島 ひづる	兵庫医療大学教授・看護学研究科長
大江与喜子	医療法人財団 樹徳会 上ヶ原病院 理事長
清水聡一郎	清水クリニック院長・兵庫医科大学後援会会長
澤 田 友 宏	ペガサス馬場記念病院 薬剤部・兵庫医療大学同窓会会長
石 藏 礼 一	神戸市立医療センター中央市民病院 放射線診断科 部長
松 村 昭 夫	常勤理事
難 波 光 義	宝塚市 病院事業管理者
成 田 康 子	公益社団法人兵庫県看護協会 会長
笠 井 秀 一	一般社団法人兵庫県薬剤師会 会長
間 瀬 教 史	一般社団法人兵庫県理学療法士会 会長
山 中 若 樹	医療法人明和病院 理事長
木 曾 賢 造	協和会グループ 会長
空 地 顕 一	兵庫県医師会 会長・空地内科院 院長
元 佐 龍	兵庫県健康福祉部健康局医務課長
田村比佐雄	西宮市副市長
熊 谷 保 徳	神戸市健康局副局長
堀 井 宏 之	丹波篠山市副市長
夏 苺 千 晶	東日本税理士法人 税理士
木 内 道 祥	弁護士
伊 賀 俊 行	西宮市医師会 会長・伊賀眼科クリニック 院長

○ 教職員数(2022 年 3 月 31 日現在)

1. 教員数

	西宮キャンパス	篠山キャンパス	神戸キャンパス	合計
学長	1	-	1	2
副学長	5	-	4	9
教授	70	-	37	107
准教授	37	2	19	58
講師	89	4	33	126
助教	222	10	30	262
助手	-	-	4	4
合計	424	16	128	568

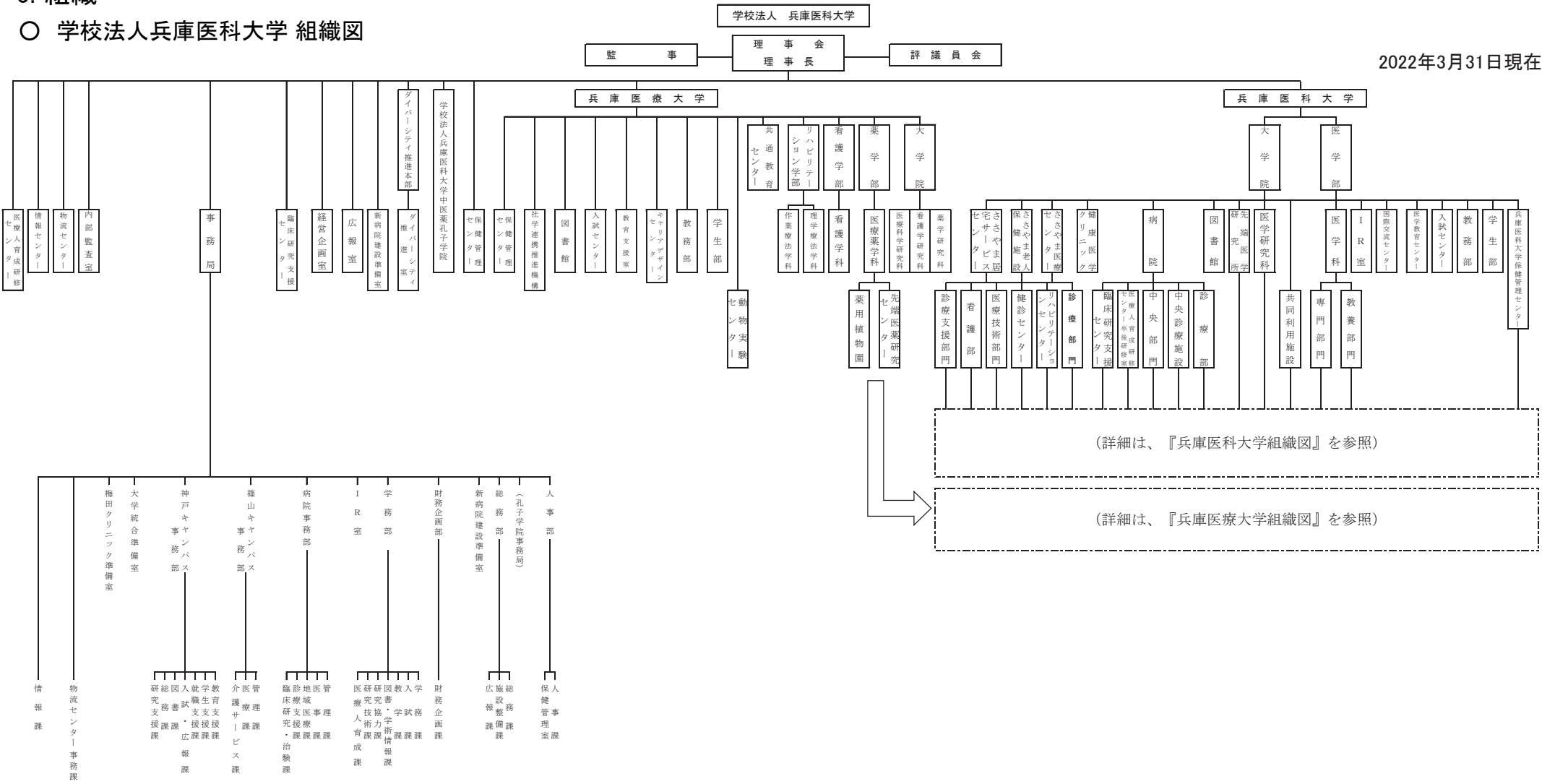
2. 職員数

		西宮キャンパス	篠山キャンパス	神戸キャンパス	合計
医師	病院長	1	1	-	2
	健康医学クリニック院長	1	-	-	1
	病院助手	88	2	-	90
	レジデント	104	2	-	106
	臨床研修医	102	-	-	102
医療技術職員		1,479	218	3	1,700
その他技術職員		222	-	13	235
福祉職員		10	61	-	71
事務職員		474	58	56	588
技能・労務職員		192	35	1	228
合計		2,673	377	73	3,123

5. 組織

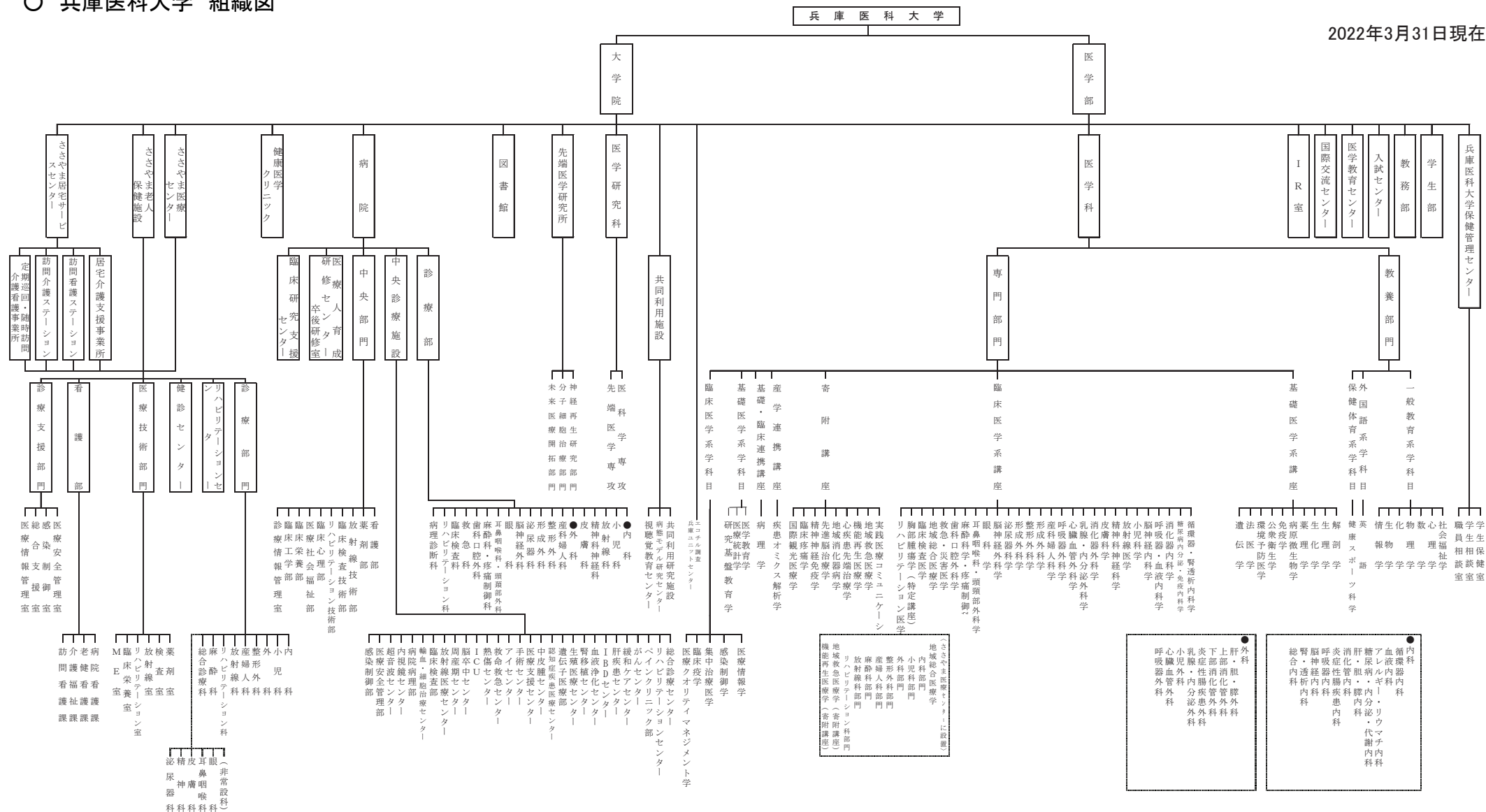
○ 学校法人兵庫医科大学 組織図

2022年3月31日現在



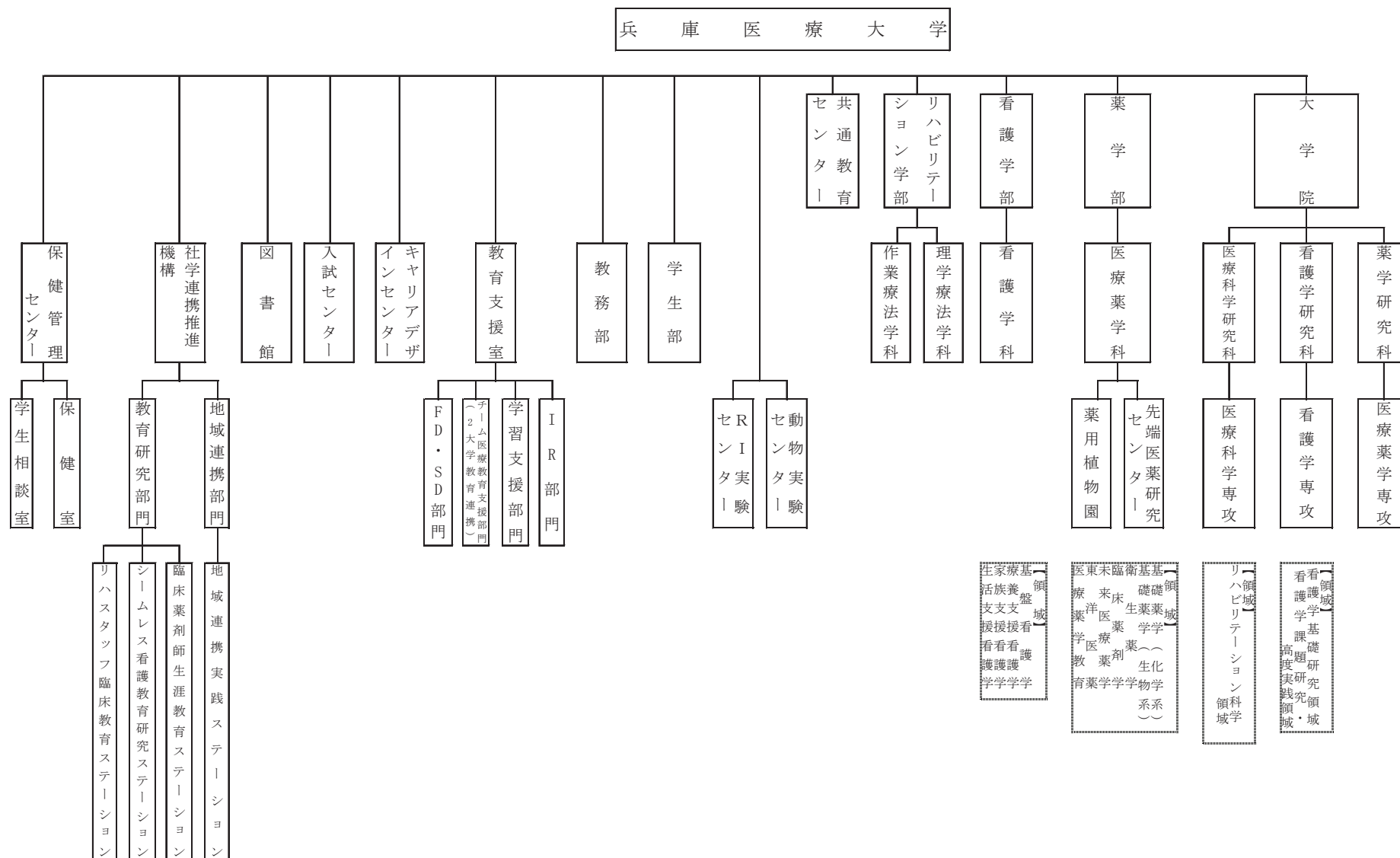
○ 兵庫医科大学 組織図

2022年3月31日現在



○ 兵庫医療大学 組織図

2022年3月31日現在



6. 関 連 法 人

○ 株式会社 エイチ・アイ

設 立 日	2004 年 12 月 1 日
資 本 金	1,000万円
所 在 地	西宮市武庫川町 1番1号
出 資 者	学校法人 兵庫医科大学
役 員 構 成	代表取締役 多 田 宏 幸 取 締 役 阪 上 雅 史 取 締 役 松 村 昭 夫 取 締 役 佐々木周一 取 締 役 甲 斐 義 啓 取 締 役 中 村 高 志 取 締 役 小 寺 斉 人 取 締 役 丸山美津子 取 締 役 香 川 静 麿 監 査 役 森 田 泰 夫
従 業 員	27名
事 業 内 容	飲食店・売店の運営管理、業務受託他

○ 有限会社 エイチ・アイ・サービス

設 立 日	2005 年 1 月 5 日
資 本 金	300万円
所 在 地	西宮市武庫川町 1番1号
出 資 者	株式会社 エイチ・アイ
役 員 構 成	取 締 役 香 川 静 麿
従 業 員	3名
事 業 内 容	損害保険代理店業、業務受託他

Ⅱ 事業の概要

1. 2021 年度事業計画＜重点施策＞と達成状況

計画 No.	事業名、事業の概要	達成状況
1	【事業名】 RPA の事務局全体への拡大、職種横断的な BPR 活動の展開及び PDCA サイクルの構築 【事業の概要】 1. RPA 対象部署・業務の拡大 2. 既存プロジェクトチームメンバーの協力メンバーとして教員や医療職種を追加 3. 全教職員を対象とした 2020 年度取り組み報告会の開催 4. 改善事例に対するアフターフォロー及び人事考課結果に基づく重点事例としての取り組み開始	1.2021 年度は、実施対象部署を 2 部署から 5 部署に拡大して RPA 化を行い、2020 年度に比べて大きな削減効果が得られた。(以下、対象部署及び削減効果)。今後、全事務部署での運用に向け、更なる対象部署及び対象業務の拡大を進める。 ■2021 年度実施対象部署及び削減効果 (時間/年) [人事課] ・雇用保険・育児休業給付金 (作業時間: 200 時間⇒48 時間 20 分 削減時間: 151 時間 40 分) ・雇用保険・喪失届 (作業時間: 110 時間 40 分⇒53 時間 45 分 削減時間: 56 時間 55 分) [管理課 (病院企画係)] ・収支実績報告資料作成 (作業時間: 48 時間⇒24 時間 削減時間: 24 時間) [医事課] ・査定処理 (作業時間: 36 時間⇒27 時間 36 分 削減時間: 8 時間 24 分) ・病院収入報告書作成 (作業時間: 38 時間⇒1 時間 10 分 削減時間: 36 時間 50 分) [物流センター] ・発注入力作業 (作業時間: 850 時間⇒336 時間 削減時間: 514 時間) [保健管理室] ・インフルエンザ予防接種リスト (作業時間: 22 時間⇒5 時間 5 分 削減時間: 16 時間 55 分) また、7 月に情報センター協力のもと BPR プロジェクトチームメンバーに対する RPA 説明会を実施し、RPA の各部署への浸透及び BPR 活動における RPA 対象業務の抽出を行っており、RPA の全事務部署拡大に向けての準備も進めている。 2.BPR プロジェクトチームの担当部署やプロジェクトメンバーの変更を行い、学務部や病院事務部の担当部署 (課) を拡大することで、教員や医療職にも関連する BPR 対象業務課題の抽出を図った。3 月末時点で、プロジェクトメンバーより 2020 年度 (57 件) を上回る 84 件の BPR 結果報告書が提出されており、教員や医療職が関与する課題も一部あったが、事務局 (自部署) における業務課題が多く、教員や医療職に関連する BPR の成功事例の蓄積としては不十分であった。2022 年度以降の BPR 活動においては課題抽出から見直す必要がある。 3.新型コロナウイルス感染症の影響により、2020 年度取り組み報告会は開催できず、学内 WEB (財務企画課経営企画係 HP) にて BPR 取組み内容 (2020 年度: 57 件) の公開を行った。2021 年度の活動報告においても、各部署での活動内容をまとめたものを学内 WEB にて周知を行う。 4.BPR プロジェクトメンバーへのヒアリングを通して、過去に実施した改善事例の定着状況や課内における BPR の取組み状況の確認を行い、各部署とも BPR を継続的に運用できている状況であった。 また、人事考課の必須項目としていた BPR 活動については、2020 年度人事考課の BPR 課題の結果を参考に未達成課題の傾向分析を行った。未達成要因としては、「他部署との折衝や調整を必要とする課題」、「時間不足」、「システム課題」の割合が高く、今後、この結果を参考に BPR プロジェクトとして今後優先的に取り組むべき重点課題を設定し、BPR を実施する。
2	【事業名】 新病院建設計画にかかる実施設計の実施 【事業の概要】 1. 新病院棟の実施設計支援事業者の選定	1.2021 年 1 月開催のランドデザイン協議会にて施工予定者兼技術協力者選定の応札要請会社について 6 社が承認され、最終的に 3 社での競争見積となった。6 月 30 日に見積書・技術提案書等の受領、7 月 9 日にプレゼンを実施し、7 月 20 日のランドデザイン協議会において各社の VE 提案に対する採否の決定、概算見積、技術提案に対する評価を行った。8 月 6 日付で常務会構成員の決裁をもとに「鹿島建設株式会社」を実施設計技術協力事業者として選定した。

	2. 新病院棟の実施設計の実施 (2022 年度複数年計画) 3. 西宮キャンパスグランドデザインの検討・策定(跡地利用計画の検討を含む)	2.新病院棟開院支援業務委託を契約しているジップヘルスケアによる現有品調査を 5～8 月の 3 ヶ月間で院内全部署の調査を終えた。また、10 月より医療機器の移設可否確認作業も終了し、2022 年度より開始される医療機器ヒアリング時の建物側の必要インフラ(電力・給排水など)について引き続き確認・検討していく。情報システム計画の策定については、2021 年度は計 3 回の WG を開催し、基本計画の策定を段階的に進めている。新病院情報システム整備の基本方針を検討するために教職員を対象にした病院情報システムに関するアンケートを 1 月に実施し、今後結果をもとに基本計画書に反映させていく。 許認可については、西宮市と「一団地認定」「開発事業一事業化」等に関して協議を開始しており、2022 年度中に協定締結させる。 実施設計図書策定については、今年度中に部門ヒアリング・構造基本方針決定は完了し、来年度より図面作成に入る。 3.10 号館、急性医療総合センターの基本設計の実施については当初 2021 年度の事業計画として予定していたが、今後の跡地利用計画を勘案すると、計画通りの実行では後に修正する可能性が高いため、実施時期を見直し 2022 年度以降に再度検討することとした。
3	【事業名】 2 大学統合に向けての認可申請及び各種準備 【事業の概要】 1. 文部科学省への統合に係る認可申請に関するスケジュール 2. 2022 年 4 月の統合にむけての準備	1. 計画通り認可され学生募集の停止の報告も行い、年度内での手続きは完了した。 2.(1)大学統合準備委員会及び各部会 ① 教員組織部会(部会長：野口兵庫医科大学学長) - IR 室、社会学連推進センターの役割・機能の策定、非常勤講師関連や教員業績の策定など完了。 - 大学の主要意思決定運用ルールについては、2022 年度の大学運営を進めながら検討することとなった。 - 研究 WG では、倫理審査、COI、研究公正など仕組みと運用面を検討完了 ② 入試・広報部会(部会長：藤岡兵庫医療大学学長) - 入試関連規程、会議体を検討し、完了。 ③ 教務部会(部会長：鈴木兵庫医科大学副学長) - 臨床教育統括センター・薬学教育センターの役割、機能の確定完了。 - 内部質保証の仕組みの構築完了。 ④ 管理部会(部会長：松村理事) - 各種サイン設置、システム構築など進行中。3 月までに完了。 (2)UI 開発とその後のコミュニケーション戦略の立案と実行 - インナー広報として理事長メッセージ、UI ポスター掲示など実施し完了。 (3)新大学 Web サイトの構築 4/1 公開完了。 - 公開後は事務局各部門主導で広報課が公開権限を持ち情報の更新を進める。
4	【事業名】 兵庫医科大学 開学 50 周年記念事業の実施 【事業の概要】 1. 兵庫医科大学開学 50 周年記念事業募金(新病院建設事業募金)の実行 2. 50 周年記念事業の PR 活動 3. 50 周年記念事業の式典の実行と記念 DVD の作成	1.本年度 6 月から募金活動を開始。 本年度末時点での申込額 664 百万円 〔内訳：役員・教職員(名誉教授・名誉学長含む) 49 百万円 同窓会 40 百万円 後援会 92 百万円(2019・2020 年度寄付含む) 企業・医療機関 465 百万円 個人(学外) 18 百万円 合計 664 百万円 目標比(単年) 83.0% 目標(累計)達成率 33.2% 前回比(単年) 101.0%〕 - 役員・教職員へは、5 月、11 月に、グループウェア「回覧」で募金依頼。 - 病院内 TV モニターで広報中、ポスターは各病棟・萌えの会ラウンジに掲示。 - 院内募金箱は、各病棟、店舗、渡り廊下等、40 箇所に設置。 2.50 周年ロゴマークを作成。各封筒(大学・病院・紹介状用)、一部教職員の名刺に使用。全教職員向けに 50 周年記念品として、「新大学ロゴ入り名札用ストラップ」を作成、配付。 - 情報発信について、50 周年事業である大学統合、梅田クリニック、新病院棟建設、募金の実施については、大学ホームページ・広報誌、募金趣意書により広報活動を行った。 3.50 周年事業委員会(7 回開催)にて、式典内容を検討し、決定した。

		・記念式典について、コロナ禍のため、予定していたホテルでの開催は取り止め、平成記念会館にて式典・講演会のみ実施（祝賀会は開催しない）。 開 催 日：2022 年 3 月 26 日（土）午後 3 時～午後 6 時 45 分 参加人数：310 名（案内状送付先（学外）470 部、教職員はグループウェア）。 ・50 周年記念映像DVDについて、DVD制作委員会（6 回開催）にて、内容を検討し、3 月に納品完了（500 部）。記念式典で映写。大学ホームページに縮小版を掲載。
5	【事業名】 競争的資金の組織的獲得推進施策の継続 【事業の概要】 1. 科研費申請及び獲得推進のための各種具体的施策の継続実施 2. AMED 委託研究開発課題他競争的資金等獲得支援策の継続実施 3. その他公募型研究資金、共同・受託研究による企業資金等獲得支援策の継続実施 4. 4. 科研費(代表)間接経費獲得額に応じた所属講座へのインセンティブ制度導入	1. 科研費新規申請件数 講師以上 (121) 件 助教 (74) 件 (1) 研究推進 WG による以下の実施 研究推進 WG (5/9) で活動計画を策定した (1. 科研費申請支援、2. 発表会、研究推進助成、情報提供、3. 学内外の連携・研究テーマの創出に係る支援) ① セミナーの実施 (研究協力課、URA) ・大村谷教授を講師として計画書作成に関するセミナー、事務担当者による公募内容に関するセミナーをオンラインで実施した (50 名が視聴) → コロナの状況にもよるが、対面でのセミナーを検討する。 ② 科研費申請支援 (URA、研究協力課) ・23 名の研究者の申請書作成支援を実施した。概要書を基にしたヒアリングによる方向性の整理、実際の申請書作成の支援など。 → 研究者のレベルに応じた支援方法や日程については、要検討 (2) 学長による各講座ヒアリングの実施 (学長、学務部) ・7～8 月の間で全 60 部門の講座等ヒアリングを実施した。 ・昨年度来、科研費不採択者の判定結果も踏まえ、次年度申請に向けた研究計画の確認を行っている。 2. ☆研究者及び講座のデータベース構築 (URA) ・今まで面談を実施した研究者・研究の情報を整理した (146 名分) → 随時、追加と更新を実施中 ① 情報収集・発信と個別アプローチ (URA) ・競争的資金の公募情報を収集し、データベースを基に情報提供を行った。 ・AMED 橋渡し研究の拠点である京大と包括契約の下で連携し、公募説明会や個別相談会を実施した。 ・AMED 事業に可能性のある研究者にアプローチを実施した (20 名程度) ② マッチング、ヒアリング対応、申請書作成支援 (URA) 研究者からの要望に応じて、支援を実施した。実施例を示す。 ・西浦助教、大村谷教授 (創薬ブースター)：研究推進に係る支援により、ステージアップ *ステージアップに成功するテーマは、10%未満 ・大村谷教授、西浦助教 (橋渡し研究)：申請書作成支援 → 採択 ・石戸教授 (橋渡し研究)：申請書作成、ヒアリング支援 → 採択 ・永橋講師 (革新的先端研究開発支援事業)：申請書作成支援 → 採択 ・五味教授 (橋渡し研究：関学との共同研究)：事前ヒアリング、方向性の整理、関学との調整、申請書作成支援など → 異分野融合研究へ ・福井准教授 (生育疾患克服等総合研究事業)：申請書作成、ヒアリング支援 → 結果待ち ・中込教授 (再生医療実現拠点ネットワークプログラム)：申請書作成 → 結果待ち 3. ① 公募情報の収集と提供 (研究協力課、URA) ・財団などの公募情報を収集・整理を実施 (月 2 回取り纏め) ・メールマガジンを立ち上げ、研究に興味を持つ研究者へ発信を行っている (登録者数 86 名、随時便と定期便で情報発信)。 ・個別でも、応募の提案と申請支援を随時行っている。 ② 研究のマッチングと支援 (URA、研究協力課) ☆KIZUKI 見える化 PJ：医療現場の課題・ニーズを起点とした研究テーマ立案、異分野交流による課題解決を図るプロジェクトを立ち上げた。 【島津製作所】 広く包括契約を締結し、協力関係を深めている。情報交換会 (7/14、101 名参加) などを通じた 18 件の交流により、5 件の共同研究 (医療機器開発など) に繋げた。 【関西学院大学】 データサイエンスに関わる研究に関して、両大学でのヒアリングを通じ、研究者のマッチングを実施 (2 件)

		【神戸医療産業都市推進機構】 シーズ相談・ヒアリング依頼を通じて、企業との連携に繋がった（泌尿器科、精神・神経科）。 【各種企業情報の提供】 製薬企業、機器メーカー、ベンチャーなどとのマッチング、企業からのヒアリングを通じ、共同研究など企業との連携に繋がった。 ③現在進行中の案件例（URA、研究協力課） ・島津、シャープ、京大、先端研（菊池准教授）：「微生物の迅速測定法」 ・パナソニック、肝胆膵外科：主任教授の異動に伴い、京大へ移管 ・島津、オミクス解析学講座：「オミクス解析を用いたがん診断法」 ・島津、先端研、臨床検査医学：「微生物迅速測定機器」 ・田辺三菱、免疫学、産科・婦人科：出願特許を基にした「子宮内膜症治療薬開発（グローバル・フェーズ II）」、実施契約（一時金 500 万円） ・日本アビオニクス、薬学部（芝田助手）：「AI を用いたサーモグラフィ開発」 ・脳外（内田准教授）：JUST7 のライセンス、実施契約（一時金 140 万円） ・LG Japan Lab、生理学（中村助教）：製品開発に関するコンサルテーション ・光洋ディスパースなど、泌尿器科、熊本大学：「尿流率センサー」 4.令和 3（2021）年度 科学研究費助成事業（科研費）、厚生労働科学研究費補助金事業採択課題の代表研究者に対して、獲得間接経費の 30%相当額を大学予算より 18,056,100 円を特別研究奨励金として配分した。採択の決定時期に応じて 3 回に分けて配分を行った（詳細は下記の通りである）。なお、昨年度の採択実績に対して 15,894 千円を予算計上していたが、今年度は採択課題数が増加し、配分予算が不足したため予備費を申請して対応した。 1 回目配分：16,751,100 円 2 回目配分：1,143,000 円（萌芽+1 回目未申請分） 3 回目配分：162,000 円（研スタ） 合計：18,056,100 円
6	【事業名】 薬学部における受験生の安定的確保と学生の学習支援の充実 【事業の概要】 1. 薬剤師国家試験対策の強化継続と学長指示のもと学部の主導体制を更に強化する 2. 多様な修学状況の学生に応じたフォローアップ 3. IR による入試、教学データのフィードバック 4. 薬学部を主とした入試・広報戦略の策定及び実施	1.国家試験新卒合格率：77.2%、全国新卒合格率：85.2% 目標値（80%）および全国平均にはわずかに及ばなかった。 薬学部 6 年次生の国家試験対策として策定した課外対策は、一部を除き対面で実施でき、その結果、学生の学力も上がり、模擬試験の結果も順調に推移していた。しかし、2022 年 1 月頃にオミクロン株による感染拡大により、以降の対策（外部講師による講習会）はオンライン対応を余儀なくされた。薬学部で算出した国試対策終了後から国試本番までの学生の取組み度数を比較すると、例年+30～+40 ポイント程度となるところが、今年度は+15 ポイント程度であった。このことから推測すると、全ての国試対策プログラムが終了以降から国試本番までの間の自学の部分で、大学に来ずに自宅で勉強することになったことで、少なからず気の緩みをもたらした可能性が考えられた。 2.全学部に対しては入学前教育（課題図書のリポートと数学問題演習）による就学前からの基礎学力フォローアップを実施した。 また、薬学部においては以下を実施した。 (1) 新入生を対象として、前期に 100 字要約ドリル・入門編の冊子を文章読解の教材として新入生のアドバイザー制を実施した。課題の実施状況の確認等は Moodle で行い、週 1 回のアドバイザーグループ面談（3 名/1 教員）にて新入生の学習および生活状況の把握に務めた。 (2) 科目別学習支援では、前期に化学計算と有機化学に対する補習（全入学生対象）を実施し、課題プリントの採点と添削を行った。採点には一部の学生チューターが協力した。後期は基礎物理化学の成績不良者（中間テスト）に対して、計算演習を中心とした補習を実施した。 (3) 春休み期間（2～3 月）に、1～3 年生対象のアドバンスト国試問題講習会をオンライン（オンデマンド）配信により実施した。参加率は 90%以上と良好であった。実施の成果は、新年度 4 月の春季総合実力テストで評価する予定である。 (4) 薬学部独自の入学前教育は、専願推薦合格者（32 名）に対して 12 月に説明会を実施し、外部予備校のオンライン・ビデオ授業を教材（主に化学と生物）とした自宅学習と、共通基盤教育システムを利用した E-ラーニングで課題（数学・生物）を課すなどで実施した。32 名中 30 名は課題の提出において良好な学習態度を示した。実施の成果は、新年度 4 月のプレイスメントテストで評価する予定である。

		3.2020 年度後期 修学実態調査結果について、2021 年度に分析を行った。 また、分析結果をもとに、各学部・共通教育センターにてアクションプランを策定し、それぞれの教授会で承認された。 2021 年度から修学実態調査を年 1 回に集約し、IR 部門会議にて集計結果を踏まえ、特に第 2 学年次生へのフォローが必要であること、フォローを必要としている学生の情報を学部へフィードバックするべきであることなどを確認した。 4.大学統合準備委員会入試広報部会で決定した広報計画に基づいて計画を進行した。高大連携協定を締結している協定校と新たに重点的に高校訪問を行う重点校を選定し、協定校は年 3 回、重点校は年 2 回、入試・広報課で訪問することとし、計画どおり高校訪問を行った。コロナ禍であったが高等学校教員対象の入試説明会を開催し統合に関する周知を行った。大学案内等の広報資料は 4 学部構成のものを作成した。また、2 大学統合に関する募集ビジュアルを作成し、5 月・11 月に交通広告の展開、受験生・高校生へダイレクトメールを行った。 協定校については、大学統合後も兵庫医科大学として、協定校の枠組みを維持し連携校とし、新たな連携校を加えて 2022 年 4 月から新たにスタートする。 緊急事態宣言の影響により、6 月と 8 月 2 回のオープンキャンパスは開催出来なかったが、1 月末から 2 月末に WEB 版のオープンキャンパスを開催し、3 月には来場型のオープンキャンパスを開催し、例年以上の来場者数となった。"
7	【事業名】 収支改善ならびに COVID19 禍における新たな診療体制の構築 【事業の概要】 1. 病床稼働率の維持年度目標 88.9% 2. 土曜日診療体制の見直し 3. 安全安心な診療体制の構築 4. 災害時緊急時の事業継続体制の整備	1.○病床稼働率 88.9% ・病床（一般＋精神）稼働率（2022 年 3 月末実績）：79.7%（期初目標値 88.9%） ○特定入院料算定率の向上、平均在院日数、重症度、医療・看護必要度の維持 ・特定入院料算定率：ICU 84.3%(+2.2%)、NICU 79.0%(-3.8%)、 GCU 43.6%(-10.6%)、MFICU 52.4%(-5.7%)、 救急 20.8%(-8.8%)、EICU・CCU 57.4%(-7.1%)、 SCU 76.6%(-8.0%)、HCU 57.0%(-5.6%) ・平均在院日数：一般 11.7 日、精神含む 12.0 日 ・重症度、医療・看護必要度：12 月：35.4%、1 月：35.1%、2 月：35.1%※目標 28%（Ⅱ） ・プレホス体制は夜間に運転対応できる者がいないこと、また EICU 病棟がコロナ病棟運用中であることから、受入制限があり応需件数は伸びていない。救急救命士の応募がないことから、運転手の直雇用又は業務委託での運転業務体制の構築に向けて検討を重ねており、次年度後半からの開始を目指すこととなった。 ○時間外診療のあり方見直し ・宿日直体制を取っている各診療科に対して、実態調査を行った結果を元に、働き方改革担当副院長を中心に、各診療科ヒアリングを実施しており、実態詳細を取りまとめたが、宿日直体制の見直しは次年度に持ち越した。 ○COVID19 禍における地域連携の促進 ・Web を活用した地域連携を中心に活動を行った。医療機関向けには地域医療懇談会を Web にて実施した。また、サタデーモーニングセミナーを隔月で開催し近隣医療機関との連携強化を図った。その他一般の方向けにも阪神電鉄と合同で行っている阪神沿線健康講座を Web にて実施した。 2. ○土曜日終日診療の検討 ・病院長ヒアリング時に月 1 回の土曜日終日診療とした場合について感触を確認したところ、外科系診療科においては手術実施日が 1 日増えるため前向きな意見が多かった。肝心の麻酔科との具体的な話し合いはできておらず、検討が進んでいない。 3. ○院内感染防止対策の徹底 ・第 6 波ではクラスターも発生し、一時的に病棟の閉鎖、コロナ病棟への転換を行い、感染制御部を中心に徹底管理することでクラスターも終息し、速やかに病棟再開が実現した。 ○医療者（病院職員）の防護策 ・感染制御部の指導（OJT や E-learning）により PPE 脱着手順は徹底されておりコロナ陽性患者の対応業務から陽性となった職員はでていない。 ○救命センター発熱外来の施設整備 ・救命センター対応：除染室で診察できる環境を整備している。 ・発熱外来対応：10 号館 1 階時間外外来で日中診察できる環境を整備している。 ・重症診療エリアとして、EICU・CCU 病棟を整備（救急病棟の一部含め）し、中等症以下の患者対応用として 8・2 病棟の一部をコロナ対応病床として整備した。

		・クラスター発生時も8階西病棟をコロナ病棟として柔軟に転換させて上手く対応することができ、また、それに伴い、入院前PCR検査体制等の対策を強化した。 4.○BCP（事業継続計画）のブラッシュアップ ・BCP第1版に基づく机上訓練を実施し、幹部職員に当院の脆弱な面を認識してもらえ、第2版作成に向けて意見を集約している。 ・感染制御部を中心に、感染症編BCPの策定ができた。法人部門担当者と共に、停電編、高潮編、台風対策編を順次検討しており、まずは停電編のマニュアルができた。 ○薬品、医療材料の安定確保 ・協力体制の構築に向けて検討している
8	【事業名】 公設民営を目指した病院再編・効率化による地域医療体制の構築 【事業の概要】 1. 丹波篠山市と岡本病院、ささやま医療センターによる地域における適正な病床規模、機能、設置形態の検討 2. 経営シミュレーション実施 3. 3. 公設民営化を目指した地域医療体制構築スケジュールの策定	1. ささやま医療センターと岡本病院の病床規模、病床機能については、12月に丹波篠山市からコンサル会社のコンサル結果の報告が行われた。 この報告では、ささやま医療センターの病床数、病床機能は現行通りとし、岡本病院は一般病床をなくして介護医療院等へ転換し、救急医療機能と急性期医療機能をささやま医療センターに集約することが望ましいとされていた。 また、ささやま医療センターの経営形態について優先順位がつけられており、1番は現行通り丹波篠山市と学校法人兵庫医科大学との協定方式、2番目は学校法人兵庫医科大学を指定管理者とする指定管理者制度、3番目はその他の法人を指定管理者とする指定管理者制度、4番目は独立行政法人化もしくは市の直営方式であるとの説明が行われた。 その後、この案を基に第3回丹波篠山市地域医療関係者会議が開催される予定であるが、現時点では未開催である。 2. 適正な病床規模、病床機能、経営形態について協議が進んでいないため、経営シミュレーションについても実施できていないが、市からの依頼により分析に必要な様々なデータについては、作成し、提出済みである。 3. 適正な病床規模、病床機能、経営形態について協議が進んでいないため、未実施である。
9	【事業名】 梅田クリニック開設に向けた種々の準備 【事業の概要】 1. 健診メニューや外来診療科目の決定 2. 広報活動及び新規顧客獲得を目標とした営業活動の積極化 3. 実施設計及び移転・購入機器の選定 4. 現クリニックからの移転計画策定 5. 本院とのスムーズな連携を可能とする運用も含めたシステムの検討	1. 健診メニューや価格については上期に乳がん・子宮がん検診項目の細分化等、標準ドックを軸により受診者に選択してもらいやすいものへと見直した。さらに梅田への移転も考慮し、2022年4月から適用すべくレディースドックやオプション単独コース等の価格の見直しや実施継続の有無を検討、決定した。外来科目についても開院時の科目については概ね見通しが立ったが、具体的な医師名を決定し、3診をフル稼働させるための戦略を検討する必要がある。 2. 新規顧客の獲得については2021年度に15団体の企業と新たに契約を締結することができ、そこからの新規利用者は82人となった。契約を結ぶことのできる期間が限られている団体も多く、梅田クリニックが年度中の移転となることに難色を示されるケースもあったことから、引き続き2023年度実施開始を視野に入れた営業活動も展開していく。ホームページについては業者選定を行い、2022年度開始早々には告知サイトを公開した。リーフレットについては未確定の事項もあったことから、コスト削減のため2021年度については自前で作成したチラシを活用するに留めた。 3. 実施設計も含め概ね当初のスケジュールどおり進めることができ、2022年3月22日には工事着手となった。購入機器については工事費が膨れたこともあり一部見直しを余儀なくされたが、医師を含めた現場スタッフの理解を得ることもでき概ね計画どおり完了できた。 4. 移転計画を策定する上で肝となる「CT・MRIの搬入」及び「引き渡し日」が夫々2022年7月14日～15日、8月20日に決定したことから、引っ越し日やシステムの確認も含めたリハーサルの日程も決定した。ただし、開院と同時に保険診療を開始するためには、2022年9月12日までに保健所（北区役所）及び近畿厚生局への届出を完了し、立入調査を受けておく必要があるため、スケジュールはかなりタイトであると言える。 5. 電子カルテについては本院との共有が前提となっているため、スムーズな連携が期待できるものの、対外的にはあくまで別施設としての扱いとなるため、運用については引き続き検討する必要がある。健診システムについても現システムで課題（業務負担増）となっている部分が解消できる仕様となっており、効率的な運用や容易なデータ抽出が可能となる。

2. 法 人

○ 兵庫医科大学と兵庫医療大学の統合が決定～関西有数の医系総合大学へ～

二大学統合に向けて申請を行っていた3学部・3研究科の設置認可について、2021年8月27日付で文部科学省から開設の認可を受けた。兵庫医科大学は、開学50周年の節目にあたる2022年4月に新たに4学部4研究科としてスタートする。

1. 統合後の大学・大学院概要

【名称】 兵庫医科大学 (英語表記) HYOGO MEDICAL UNIVERSITY

【学部・大学院】 (学 部) 医学部・薬学部・看護学部・リハビリテーション学部

(大 学 院) 医学研究科・薬学研究科・看護学研究科・医療科学研究科

【学生数】 (2021年度)

学部学科名		入学定員	収容定員
医学部	医学科	112名	672名
薬学部	医療薬学科	150名	900名
看護学部	看護学科	100名	400名
リハビリテーション学部	理学療法学科	40名	160名
	作業療法学科	40名	160名
合 計		442名	2,292名

研究科名	専攻	課程	入学定員	収容定員
医学研究科	医科学専攻	博士課程	40名	160名
	先端医学専攻	博士課程	20名	80名
薬学研究科	医療薬学専攻	博士課程	3名	12名
看護学研究科	看護学専攻	修士課程	8名	16名
医療科学研究科	医療科学専攻	修士課程	8名	16名

2. 大学統合に係る大学組織改編及び各種準備

大学統合準備委員会が設置され、その下部組織として教員組織部会、入試・広報部会、教務部会、管理部会、研究ワーキンググループが定期的・継続的に統合に向けての規程改正、運用検討等の課題解決を進め、統合に係る課題を完了した。

大学の最高意思決定機関として「大学運営会議」、西宮・神戸の両キャンパスでの学部間の調整・連絡及び意見交換を行う「キャンパス協議会」、卒前卒後の臨床教育の充実を目的とした「臨床教育統括センター」、本学にふさわしい学生の募集ならびに選抜の方法等を総合的に企画立案する「アドミッションセンター」、大学と社会との連携を推進する「社会学連携・研究推進センター」、FDとSDを推進する「FD・SD推進室」、薬学、医療の進歩及び社会の変化に即応した薬学教育を包括的に推進するための「薬学教育センター」を新設した。

3. UI(ユニバーシティ・アイデンティティ)開発とその後のコミュニケーション戦略の立案と実行

新たなUI(スローガン、ビジョン、ステートメント等)に基づき、コンセプトブックを全教職員や学生に配布するとともに、公式ホームページに「UI特設サイト」を設置した。また、スローガンである「EMPOWER THE PEOPLE ～心に響く医を、私たちがいるかぎり～」のキービジュアルを制作し、主要駅には年間の交通広告を掲出したほか、期間限定で電車内広告を掲出した。また、UIに基づいたVI(ビジュアル・アイデンティティ)ガイドラインを整備し、シンボルマークやロゴタイプを使

用する際の基本デザイン、名刺や封筒のデザインなどを統一し、全学で統一感のあるブランド発信を推進した。

また、大学統合に際し、兵庫医科大学サイト、兵庫医療大学サイト、法人サイトを統合し、UI に基づいた Web サイトを制作した。

○ 新病院棟建設に向けた取り組み

2026 年の新病院棟開院に向け、新病院棟実施設計技術協力事業者の選定をおこない、12 月より関係部署との実施設計ヒアリングが開始された。次年度についても継続してヒアリングを実施する。

また、新病院棟開院支援業者と共同して院内の現有品調査を実施した。10 月には医療機器の移設可否確認作業も終了し、次年度より開始される医療機器ヒアリング時において、建物側の必要インフラについて検討していく。

○ 内部監査室

1. 業務・会計監査の実施

- ① 定例監査 兵庫医科大学の公的研究費(2020 年度執行分)
- ② 定例監査 兵庫医療大学の公的研究費(2020 年度執行分)
- ③ 防災体制(兵庫医療大学)
- ④ 奨学金の管理(兵庫医療大学)
- ⑤ 資産管理(兵庫医療大学の図書)
- ⑥ 調達業務に係る手続き(篠山キャンパス)
- ⑦ 治験業務
- ⑧ 教員研究費等の使用状況(兵庫医科大学)
- ⑨ 産業廃棄物の管理(西宮キャンパス)
- ⑩ 規則等の整備(篠山キャンパス)

2. 公益通報の申立窓口事務

申立なし

3. 監査の情報交換

日本内部監査協会、大学監査協会及びその他外部セミナーへの参加

4. 監事、監査法人との連携・情報の共有

- ① 三様監査連絡会参加(監事および監査法人と情報交換の開催)2 回(5 月、3 月)
- ② 監事会オブザーバー参加 11 回(各月 1 回 ※12 月は中止)
- ③ 決算監事会参加(5 月)
- ④ 監査法人の監査計画、監査覚書説明会参加(9 月)

○ 補助金

1. 2021 年度 私立大学等経常費補助金

(単位:千円)

	一般補助	特別補助	合計	(参考)	
				2020 年度	2019 年度
兵庫医科大学	1,182,238	92,370	1,274,608	1,400,952	1,598,767
兵庫医療大学	311,902	22,165	334,067	399,588	402,416
合計	1,494,140	114,535	1,608,675	1,800,540	2,001,183

2. 令和 3 年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業

(単位:円)

	合計	(参考)	
		2020 年度	2019 年度
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特性対応型)	26,227,280	24,755,460	

○ 保育事業利用実績

		利用者数	対前年度
病児保育室		延 48 名 (登録者数 188 名)	145.5% (108.6%)
保育園ポピラー			
	本学専用枠(月極)	平均 27 名	97.0%
	夜間保育	延 345 名	128.7%
	祝日開院日(全 3 日)	延 32 名	

○ ダイバーシティ推進事業

1. ダイバーシティ推進事業 キックオフ講演会「新たな価値の創造を目指して」を開催

ダイバーシティ推進事業の本格始動に伴い、学内の意識を統一するためキックオフ講演会を開催した。本学における事業計画の説明及び、基調講演として先駆的な活動を行っている久留米大学 副学長の矢野 博久氏、また科学技術振興機構 プロジェクトオフィサーである山村 康子氏に講演いただいた。

2. 「兵庫医科大学 女性医師・研究者顕彰」を創設

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業の一環として、「女性医師・研究者顕彰」を創設した。この顕彰は、受賞者自身はもちろんのこと、これに続く若手の励みとし、意欲・能力の向上をはかり、本学の将来を担う人材の育成等に資することを目的としている。2021 年度は 7 名が受賞し、3 月 17 日に授賞式を開催した。

3. 英語論文投稿支援制度を開始

女性医師・研究者等の研究力向上のための取り組みの一環として、英語論文投稿にかかる費用や構成費等の補助制度を開始した。本学の英語論文数の増加および質の向上、また国際的な認知度の向上を目的としており、2021 年度は 11 名の医師・研究者に対して総額 698 千円の補助を行った。

4. 近隣医科大学との意見交換会の開催

12 月に大阪医科薬科大学と両大学長を交え、本学にて意見交換会を開催したほか、関西医科大学とも女性医師等の支援に関する情報交換を実施した。

5. 広報活動・意識啓発

研究力向上のための「論文執筆セミナー（全3回）」や若手向けキャリア支援セミナーを開催したほか、役員・管理職を対象として「医師の働き方改革」に関するセミナーを実施した。また、広報活動の強化のため公式ホームページでの学長あいさつ動画の掲載や教員コラム・ニュースレターの配信等を行った。

○ 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院

1. 一般市民を対象としたイベント

例年、一般市民を対象とした健康講座およびイベントを対面式で実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度に引き続き2021年度は、オンライン形式で各講座を開講した。

(1) シリーズ講座

タイトル	配信及び開催回数	受講者数
中医学入門講座 全12テーマ	配信:6回 Webミーティング:6回	22名
中医診断学講座 全7テーマ	配信:7回 Webミーティング:7回	35名

(2) 動画配信

タイトル	配信回数	延べ視聴回数
交流サロン 「中医学の視点から市販の漢方を選ぼう」	9回	982回

2. 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院の閉院について

本学院は、2012年11月に設立以降、中国孔子学院本部との協定に基づき、提携校である北京中医薬大学と連携・交流を図り、中医薬に関する学術研究、学術交流および地域貢献に実績を積み重ねてきたが、2022年2月末日を以って協定期間が満了を迎えたことから、閉院した。

○ 兵庫医科大学保健管理センター

1. 健康診断関係

【教職員】健康医学クリニックで実施した。各健康診断の実施延人数は次のとおり。

- ・ 定期健康診断:3,083 人
- ・ 深夜業務従事者健康診断:741 人
- ・ 放射線特殊健康診断:1,155 人
- ・ 有機溶剤特殊健康診断:107 人(希望者全員)
- ・ 特定化学物質特殊健康診断:63 人(希望者全員)

【医学部学生・大学院生】健康医学クリニックで実施し、医学部新入生には心臓健診も行った。

医学部学生 704 人、大学院生 9 人の計 713 人が受診した。

2. 感染対策関係

(1) 新型コロナウイルス感染症関連の対応

- ① 体調管理及び休憩中、食事中の注意喚起
- ② 体調不良者の健康相談及び発熱外来受診調整
- ③ 陽性者発生時の接触調査、行動履歴調査、復帰時期の連絡
- ④ 管理監督者にむけて職員の体調管理・家族の体調管理への啓蒙
- ⑤ 濃厚接触者に対しての入力フォームを作成。
- ⑥ 自宅待機中のメンタルサポート及び自宅待機者の健康管理、必要時の発熱外来受診調整
- ⑦ 体調不良による当院での PCR 検査についてのアナウンス・早期病院受診についての医局等への啓蒙
- ⑧ 年末年始、連休中の電話健康相談・緊急対応
- ⑨ 新型コロナワクチン接種副反応周知及び、接種日調整、待機室対応、副反応のアンケート調査
- ⑩ 外部委託業者への対応
 - ・ フローチャート及び報告書作成
 - ・ 発熱外来受診調整(濃厚接触者も含む)

(2) 感染性ウイルス疾患の職業感染対策

2022 年度新採用者の非常勤職員も含め全員を対象として、入職前に抗体検査、ワクチン接種を実施する体制に変更した。

3. ストレスチェックの実施

事業主に義務付けられている、心理的な負担の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を厚生労働省が公表した指針に基づき、外部機関(ティーベック株式会社)に委託して Web 方式で 11 月に実施した。

キャンパス全ての職員を対象に実施し、実施率は全体で 87.4%、西宮キャンパスは 88.2%であった。このうち高ストレス者は全体で 17.3%、西宮キャンパスは 18.1%であった。西宮キャンパスの昨年度高ストレス者は 15.7%であり昨年度より増加した。この西宮キャンパス組織分析の結果等については 2022 年 2 月 28 日開催の安全衛生委員会で報告、全キャンパス組織分析結果については 2022 年 3 月に理事長まで報告を行った。

4. セミナー及び研修会等の実施

開催日	タイトル	講師	参加人数
2021 年 4 月 ～2022 年 3 月 E+ラーニング	メンタルヘルスセミナー「セルフケア」 「わかりやすいセルフケア」	職員相談室 原田 久仁美 相談員 (公認心理師)	226 名
	メンタルヘルスセミナー「ラインケア」 「メンタル不調の対策と予防」	精神科医 向井 馨一郎 氏 (産業医)	133 名
	ハラスメントセミナー 「パワーハラスメントとは何かを知る」	厚生労働省 ホームページ動画より	362 名

2021 年 4 月 ～2022 年 3 月 E+ラーニング	体操 「お仕事が終わったらクーリングダウン」 「事務系のためのリセッティング体操」 「看護介護系のためのリセッティング体操」 「お仕事を始める前にウォーミングアップ」	監修：関西労災病院 治療就労両立支援センター 高野賢一郎 氏	108 名
8 月 16 日 ～9 月 5 日 Google Forms	健康クイズ 「生活習慣病予防クイズ」		230 名
10 月 1 日 ～12 月 21 日 E+ラーニング	ハラスメント研修「ハラスメント防止講座」	パナソニックソリューション株式会社	2544 名
11 月 1 日 ～11 月 30 日 RenoBody(アプリ)	ウォーキングイベント「てくてく兵医うお〜く」		291 名

○ 医療人育成研修センター

1. 大学統合に向けての新たな多職種連携教育

2022 年度大学統合に向けて、統合後の教育方針・教育目標や新教育体制に基づく新たな多職種連携教育のあり方等を再構築し運営準備を進めている。IPE(多職種連携教育)をさらに推進し、IPW(多職種連携協働)を実践できる医療人の育成を目的として、①さらなる実践的な学びの場として「多職種連携総合臨床実習(※仮称)」を、②将来の進路について希望者に応じてコースを選択性とした「選択専門コース(※仮称)」を、各々導入することについて決定し、HP に掲載した。

2. 学生の各種実習

新型コロナウイルス感染拡大の影響の中、チーム医療の基本理念を踏まえた多職種連携のチーム医療演習(3 年)をはじめ、医学部学生の早期臨床体験実習Ⅰ(1 年)、エスコート実習(2 年)、学内臨床実習(4～5 年)、学外臨床実習(5 年)、自由選択実習(6 年)等の対応を行った。学内臨床実習においては、独自にシミュレーション実習ならびにホスピス実習を運用した。

また、兵庫医療大学学生への早期臨床体験実習対応、同 大学院生の講義支援なども実施した。

3. 卒後研修

2021 年度研修医の募集は、基本プログラム:42 名、小児科重点プログラム:2 名、産婦人科重点プログラム:2 名、外科専門医取得プログラム:2 名、たすきがけプログラム:2 名、これに加えて今年度より協力型研修病院・大学プログラム:8 名で研修医の募集を行った。協力型を除いてフルマッチとならなかったため、全体での充足率は 86.2%と昨年よりも低下した。本学出身は 33/50 人(66%)であり、従来よりも他学出身者の比率がやや高い結果となった。

4. 医療従事者に対する各種研修

医療英会話コース、BLS 研修など医療従事者個々のスキルアップを考えた研修を実施した。幹部教員 FD についてはコロナ禍により日程を短縮(1.5 日、日帰り)して開催した。また、学内外に向けて共用カンファレンス室、シミュレーションセンターなどの施設の貸出しを実施した。

5. 認定看護師教育課程

認定看護師教育課程 B 課程(手術看護分野)を開講し、第 9 期研修生 10 名のうち 9 名が本課程を修了した。コロナ禍であるが、2022 年度は新規受講者 12 名を確保できた。

6. 看護師特定行為研修課程

看護師特定行為研修課程を開講し、第 6 期研修生 9 名全員が本課程を修了した。コロナ禍であるが、2022 年度は新規受講者 12 名を確保できた。

○ 情報センター

1. 情報センター運営協議会

2021 年 10 月及び 2022 年 2 月(臨時)に開催、各部門のシステムの次年度更新、カスタマイズについて、既設システムに関する評価、要望や費用対効果等を踏まえその可否を精査、また、所管するシステムの次年度機器更新、運用管理に係る予算等について協議を行い、併せて、上半期の事業推進と予算執行状況について実績報告した。

2. 事業計画の完遂

(1) ICT 基本計画の策定

前年度に策定した「基本コンセプト」とそれらを実現するための「戦略」に基づき各部門毎にシステムに関するヒアリングを実施し、既設・新規システムを洗い出し、中長期の更新計画を構築した。

3. 各部門のシステム更新

(1) 西宮キャンパス

- ① 仮想基盤サーバ更新
- ② 健康管理システム拡張(神戸・篠山)
- ③ 倫理審査申請システム改修
- ④ 講義収録システム更新
- ⑤ 教務システム更新
- ⑥ 病院部門システム更新(生体情報モニタ、手術部門、周産期部門)
- ⑦ 紹介患者 FAX 送受信システム更新
- ⑧ オンライン資格確認導入
- ⑨ レポート既読管理対応
- ⑩ 病院系 LAN セキュリティ監視導入(振る舞い検知)

(2) 神戸キャンパス

インターネット回線増速対応

(3) 篠山キャンパス

介護支援システム更新

4. 業務支援

(1) 大学統合関係

IC カード統合、メール統合、学籍番号体系見直し、篠山キャンパス入退管理システム導入

(2) 梅田健康医学クリニック関係

システム全体構築及び健診システム選定、ネットワーク構築技術支援

(3) RPA 推進

人事部、病院事務部、物流センター、財務企画部への RPA 及び AI-OCR 導入支援

5. その他

- ① 電子カルテレベルアップ対応、診療報酬改定対応
- ② 病院機能評価受審対応(システム関連)
- ③ 医学教育分野別評価(JACME)受審対応(システム関連)

○ 物流センター

1. 物流管理業務の改善と手術器材の適正購入による医療材料経費の抑制

SPD データに基づく消費情報 WG を開催し、特に手術部門で使用する医療材料等の中でロボット手術や脳・心臓関連手術、また、長時間手術や夜間・緊急手術等も対象に、医療材料費に基づく収支等の分析を行い、病院部門との連携のもとコスト削減を推進した。

2. 医療材料・消耗品のシェアバランス改善、価格低減の推進

商品卸のシェアバランス改善を企図した SPD による仕入参入について、シェア及び価格低減に係る期間目標を達成した。さらに、SPD 等のベンチマークをもとに価格削減交渉や医療材料・消耗品の切り替えを行った。

3. 二大学統合に向けた物品調達業務の一元対応化

西宮キャンパス物流センターと神戸キャンパス事務部総務課で担当している物品調達業務について、二大学統合を機に物流センターで一元対応することとし、紙媒体の帳票(調達請求書)を電子申請化することにより両キャンパスでの発注及び調達請求処理の集約化が可能となる仕組みを構築し、運用を開始した。

また、この調達請求電子申請データを活用して、財務システムと連携するための課内 RPA の運用にも着手した。

○ 施設整備課

1. 西宮キャンパス

- (1) 土地・建物の状況 25 ページ参照
- (2) 建物・設備等の主な改修及び更新
 - ① 1 号館 西側通路橋補修工事
 - ② 1・10 号館、急性医療総合センター 病棟ナースコール更新工事
 - ③ 9 号館・立体駐車場他解体工事
 - ④ 10 号館 エレベーター機器更新工事
 - ⑤ 急性医療総合センター 非常用発電機用蓄電池交換工事
 - ⑥ 教育研究棟 インフラ設備ケーブル切替工事
 - ⑦ 鳴尾浜グラウンド 野球場の整地及びネット修繕
 - ⑧ 大学統合におけるサイン看板等変更工事
 - ⑨ 廃液・廃棄物倉庫棟の設置工事

2. 篠山キャンパス

- (1) 土地・建物の状況 26 ページ参照
- (2) 建物・設備等の主な改修及び更新
 - ① ささやま医療センター 職員宿舎棟 C 棟・D 棟解体工事
 - ② ささやま医療センター 電話交換機更新工事
 - ③ ささやま老人保健施設 ナースコール更新工事

3. 神戸キャンパス

- (1) 土地・建物の状況 26 ページ参照
- (2) 建物・設備などの主な改修及び更新
 - ① 大学統合におけるサイン看板等変更工事

土地・建物の状況

○ 西宮キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記 (㎡)	使 用 区 分	所在地 及び 敷地面積 (㎡)
1 号 館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 13階 塔屋 2階	43,134.11	病院、臨床系研究室	武 庫 川 町 20,574.02
1号館附属棟 (事務所、食堂)	S造 4階	1,602.48	病院管理部門、食堂、売店	
2 号 館 (校舎・病院)	RC造 塔屋 6階 1階	5,563.50	病院、臨床系研究室、学生自習室	
教育研究棟 (校舎・講堂)	S造 塔屋 12階 1階	30,827.24	講義室、学生実習室、管理部門	
小 計 (西側敷地)		81,127.33		20,574.02
8 号 館 (校舎・病院)	SRC・S造 地下 1階 地上 8階 塔屋 1階	12,694.74	病院、臨床系研究室	武 庫 川 町 20,355.75
9 号 館 (研究室)	RC造 塔屋 5階 1階	11,526.38	基礎系研究室、共同研究室、講義室	
10 号 館 (病院)	SRC造 地下 1階 地上 10階 塔屋 1階	18,744.41	病院、管理部門	
急性医療総合センター (病院)	RC造 7階	15,239.17	病院	
立体駐車場 (車庫)	S造 8階	12,164.53	立体駐車場、車庫	
新立体駐車場 (車庫)	S造 6階	14,071.07	立体駐車場、車庫	
デッキ棟 (店舗・倉庫)	S造 3階	642.71	店舗、倉庫	
廃液処理棟 (廃液処理棟)	RC造 1階	192.00	実験用廃液処理	
資 料 室 (資料室)	S造 塔屋 2階 1階	2,717.76	病院、病歴資料室	
機械室 (機械室)	RC造 1階	125.81	塵芥置場	
マニホールド室 (配管室)	S造 1階	15.37	マニホールド室	
廃液・廃棄物倉庫棟	W造 2階	246.24	清掃事務所、倉庫	
小 計 (東側敷地)		88,380.19		20,355.75
平成記念会館 (講堂・体育館)	SRC造 地下 1階 地上 3階	5,642.92	体育館、部室、クラブハウス、講堂	小 松 南 町 6,869.00
アーチェリー練習場他		-	アーチェリー練習場、ゴルフ練習場	小 松 南 町 3,575.05
大学会館等 (学生会館)	S造 2階	531.57	食堂	池 開 町 452.89
留学生宿舍	W造 2階	89.01	宿舍	池 開 町 78.08
診療所 (健康医学クリニック)	RC造 3階	1,488.88	診療所	池 開 町 516.04
PETセンター (病院)	RC造 4階	1,856.80	病院	池 開 町 1,048.34
総合グラウンド		-	野球場・陸上競技場他	鳴 尾 浜 33,064.00
クラブハウス等 (クラブハウス)	S造 1階	498.85	クラブハウス、倉庫等	
救護室	S造	70.07	救護室	
東鳴尾テニスコート		-	人工芝テニスコート3面	東 鳴 尾 町 2,706.70
東鳴尾テニスコート更衣棟	CB造	47.55	更衣室	
総合研修棟跡地		-	総合研修棟跡地	武 庫 川 町 829.77(借地)
小 計		10,225.65		48,310.10
合 計		179,733.17		89,239.87

土地・建物の状況

○ 篠山キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記 (㎡)	使 用 区 分	所在地 及び 敷地面積 (㎡)
ささやま医療センター (病院)	RC造 4階	11,634.22	病院	丹波篠山市 郡家字八ノ坪 黒岡字よし池ノ坪 黒岡字葭池ノ坪 敷地面積 (㎡) 17,037.70 借地面積 (㎡) 19,825.14 (丹波篠山市より無料貸与)
倉庫 (倉庫)	CB造 平屋建	52.50	倉庫	
病院	S造 地下1階 平屋建	1,089.33	病院	
宿 舎 棟 (寄宿舍)	RC造 2階	182.92	学生宿舎(12戸)	
宿 舎 棟 (寄宿舍)	RC造 2階	92.16	学生宿舎(6戸)	
倉 庫 5 (休憩室)	RC造 平屋建	219.80	倉庫	
倉 庫 7 (集会所)	SP造 平屋建	33.80	倉庫	
宿 舎 棟 (共同住宅)	RC造 2階	229.70	教職員宿舎(4戸)	
宿 舎 棟 (共同住宅)	RC造 4階	459.40	教職員宿舎(8戸)	
看護師宿舎棟 (寄宿舍)	RC造 5階	1,214.71	宿舎(36戸)、ポンプ室、	
研修医棟 (寄宿舍)	RC造 4階	695.08	宿舎(15戸)、管理室、図書室、 討議室、講義室	
リハビリテーションセンター (リハビリテーションセンター)	RC造 平屋建 1部 S造	1,650.13	理学療法室、作業療法室、 動作評価室、診療室、他	
老人保健施設 (老人保健施設)	RC造 4階 塔屋	4,361.29	事務室、食堂、浴室、他 療養室(48室)計100人	
篠山キャンパス 看護師宿舎 (共同住宅)	RC造 3階	869.65	宿舎(28戸)	
ささやまみらい (寄宿舍)	木造 2階	680.29	学生宿舎	
合 計		23,464.98		36,862.84

○ 神戸キャンパス

建物区分	規 模 ・ 構 造	延 床 面 積 登記 (㎡)	使 用 区 分	所在地 及び 敷地面積 (㎡)
P 棟 (校舎)	SRC造 3階	8,753.86	管理部門、講堂、図書館、食堂、 売店、グループ学習室、保健室	神戸市中央区港島 49,138.00
M 棟 (校舎)	SRC造 4階	17,025.71	講義室、学生実習室、教員研究室、 カンファレンス室	
G 棟 (校舎)	SRC造 4階	9,296.26	研究室、動物実験室、RI実験室、 共同医学研究室、リハビリテーションラボ、 教員研究室、カンファレンス室、 学校法人兵庫医科大学中医薬孔子学院研究室	
G棟アリーナ (体育館)	RC造 2階	2,792.26	アリーナ、部室、多目的室	
倉庫 (倉庫)	RC造 平屋建	125.06	倉庫	
守衛室 (守衛所)	RC造 平屋建	4.20	警備員詰所	
合 計		37,997.35		49,138.00

3. 西宮キャンパス 大学

○ 新型コロナウイルス感染拡大に伴う新たな教育環境の整備

新型コロナウイルス感染拡大の影響により状況に応じた学生行動指針の策定や登校禁止措置に伴うWEB講義と登校指定科目によるハイブリッド教育の導入、Teams や Moodle 等を活用し双方向による個人指導や口頭試問の実施など、感染防止を念頭に置きつつ、「With コロナ」を念頭においた教育体制整備を行った。

○ 問題解決能力の向上を目指した教育体制の充実

本学医学部は、医学教育分野別評価基準 Ver.2.32 にもとづき、日本医学教育評価機構による認証評価を受審し、本学の医学教育は評価基準に適合していることが認定された。(認定期間:2022 年 2 月 1 日～2029 年 1 月 31 日)

カリキュラム評価委員会、学修成果作成委員会、カリキュラム委員会、教務委員会が PDCA を回すにあたり、それぞれの機能・役割の明確化と実質化を進め、現行カリキュラムや教育体制の見直し、学修成果・マイルストーンの改定、72 週への増週を含む臨床実習の充実、アウトカム基盤型教育の推進など教育改革を継続した。

○ 医師国家試験

1. 本学の状況

区分		新卒			既卒			計		
本年度		受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
		108	104	96.3%	7	7	100%	115	111	96.5%
(参考)	2020 年度	101	94	93.1%	3	3	100%	104	97	93.3%
	2019 年度	111	108	97.3%	7	7	100%	118	115	97.5%

2. 全国状況(合格率)

新卒・既卒別 私立・全国別	新 卒	既 卒	計
私 立 平 均	95.2%	61.3%	92.4%
全 国 平 均	95.0%	54.0%	91.7%

○ 2021 年度 医学部進級(卒業)認定数等

学年次	学生数	進級(卒業)	留 年	退 学	除 籍
1	126	110	15	1	0
2	119	103	13	3	0
3	103	100	3	0	0
4	117	110	7	0	0
5	124	116	8	0	0
6	116	108	8	0	0
計	705	647	54	4	0

※ 第 1 学年次退学者数は年度途中退学者を含む。

(参考)年度別 留年・退学等状況(2015～2021 年度)

年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
学生数	696	702	709	708	704	699	705
留年	45	50	47	42	41	50	54
退学	3	7	6	2	6	5	4
除籍	0	0	0	0	0	0	0
進級(卒業)率	93.1%	91.9%	92.5%	93.8%	93.3%	92.1%	91.8%

○ 医学部学生数(2022 年 4 月 1 日現在)

1 学年次	2 学年次	3 学年次	4 学年次	5 学年次	6 学年次	合計
127	123	106	107	118	124	705

○ 2022 年度 医学部入学試験

2022 年度入試では、一般選抜は一般選抜A4 科目型と一般選抜B高大接続型を実施し、学校推薦型選抜は一般公募制、地域指定制及び特別選抜を実施した。また、文部科学省のガイドラインに基づき新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し、一般選抜A4 科目型では昨年度同様、新型コロナウイルス感染症に罹患した等の理由で受験ができなかった入学志願者の受験機会を確保するため追試験を実施した。

区 分	募集人員	出願者数	第 1 次試験 合格者数	合格者数	入学者数
学校推薦型選抜(一般公募制)	12	53	—	12	12
学校推薦型選抜(特別選抜)		2	—	2	2
学校推薦型選抜(地域指定制)	5	34	—	5	5
一般選抜 A4 科目型	85	1,478	438	146	83
一般選抜 B 高大接続型	10	232	88	10	10
合 計	112	1,799	526	175	112

○ 2022 年度 大学院入学試験

(1) 前期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	9	2	5	2	0	0	0	0	0
受験者	9	2	5	2	0	0	0	0	0
合格者	9	2	5	2	0	0	0	0	0
入学者	9	2	5	2	0	0	0	0	0

(2) 後期募集

区分	人数	内 訳							
		医 科 学 専 攻					先 端 医 学 専 攻		
		器官・代謝 制御系	高次神経 制御系	生体応答 制御系	生体再生 制御系	環境病態 制御系	分子病態 制御系	疼痛情報 制御系	分子再生 医学系
出願者	28	6	12	5	0	4	0	0	1
受験者	28	6	12	5	0	4	0	0	1
合格者	28	6	12	5	0	4	0	0	1
入学者	28	6	12	5	0	4	0	0	1

○ 大学院 学生数(2022 年 4 月 1 日現在)

分野	1 年	2 年	3 年	4 年	合計
医科学専攻	36	40	50	80	206
先端医学専攻	1	1	1	3	6
合計	37	41	51	83	212

	専攻	学 年	学 生 数	内 訳	
				昼間履修	夜間履修
医科学専攻	器官・代謝制御系	1	8	1	7
		2	9	2	7
		3	14	4	10
		4	40	12	28
	高次神経制御系	1	17	0	17
		2	21	2	19
		3	18	3	15
		4	21	2	19
	生体応答制御系	1	7	1	6
		2	3	1	2
		3	12	1	11
		4	10	2	8
	生体再生制御系	1	0	0	0
		2	1	0	1
		3	0	0	0
		4	0	0	0
	環境病態制御系	1	4	0	4
		2	6	1	5
		3	6	2	4
		4	9	0	9
先端医学専攻	分子病態制御系	1	0	0	0
		2	0	0	0
		3	0	0	0
		4	1	0	1
	疼痛情報制御系	1	0	0	0
		2	0	0	0
		3	0	0	0
		4	1	0	1
	分子再生医学系	1	1	0	1
		2	1	0	1
		3	1	0	1
		4	1	0	1
			212	34	178

○ 学位の授与

甲 号(40名)、乙 号(5名)

学位授与累計 甲 971 号 乙 431 号

○ 研究費

1. 2021 年度 科学研究費助成事業

(単位:円)

研究種目名		件数	総交付額	
			直接経費	間接経費
基盤研究(B)		12	43,800,000	13,140,000
基盤研究(C)		88	97,400,000	29,220,000
挑戦的研究(萌芽)		4	9,200,000	2,760,000
若手研究		32	35,200,000	10,560,000
国際共同研究強化(B)		1	2,900,000	870,000
研究活動スタート支援		3	2,900,000	870,000
奨励研究		5	2,220,000	0
合 計		145	193,620,000	57,420,000
(参考)	2020 年度	132	166,660,000	49,710,000
	2019 年度	131	191,310,000	56,940,000

2. 2021 年度 厚生労働科学研究費

(単位:円)

研究事業名		件数	総交付額	
			直接経費	間接経費
難治性疾患等政策研究事業		1	10,926,000	3,277,000
(参考)	2020 年度	1	11,500,000	3,450,000
	2019 年度	1	11,500,000	3,450,000

3. 2021 年度 日本医療研究開発機構(AMED)研究費

(単位:円)

(単位:円)研究事業名		件数	総交付額	
			直接経費	間接経費
創薬支援推進事業 創薬総合支援事業		2	27,218,183	2,721,817
研究公正高度化モデル開発支援事業		1	23,000,000	6,900,000
医療機器開発推進研究事業		1	21,807,930	6,542,379
橋渡し研究プログラム		1	10,000,000	3,000,000
合 計		5	82,026,113	19,164,196
(参考)	2020 年度	6	126,672,760	33,159,276
	2019 年度	4	63,569,595	16,614,758

4. 2021 年度 環境再生保全機構(ERCA)研究費

(単位:円)

研究事業名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
環境研究総合推進費事業		1	28,513,000	7,822,000	36,335,000
(参考)	2020 年度	1	30,593,000	8,477,000	39,070,000
	2019 年度	1	19,164,000	5,006,000	24,170,000

5. 2021 年度 科学技術振興機構(JST)研究費

(単位:円)

研究事業名		件数			総交付額
			直接経費	間接経費	
研究成果展開事業		1	619,847	185,953	805,800
(参考)	2020 年度	2	11,140,000	3,342,000	14,482,000
	2019 年度	1	15,041,000	4,512,300	19,553,300

○ 補助金等

1. 2021 年度エコチル調査委託事業精算金(環境省)

(単位:円)

環境省委託事業名		件数			総交付額
			直接経費	一般管理費	
エコチル調査		1	103,994,230	15,599,133	119,593,363
(参考)	2020 年度合計	1	90,629,250	13,594,386	104,223,636
	2019 年度合計	1	98,762,315	14,719,306	113,481,621

2. 2021 年度多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン補助金分配金(文部科学省)

(単位:円)

研究事業名		件数			本学分配額
			各部署配分額	事務経費	
多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン		1	2,920,000	1,440,000	4,360,000
(参考)	2020 年度合計	1	2,920,000	1,440,000	4,360,000
	2019 年度合計	1	2,920,000	1,715,000	4,635,000

4. 西宮キャンパス 病院

○ 新立体駐車場の稼働開始

2021 年 4 月 1 日、主に兵庫医科大学病院の患者さんが利用する新たな立体駐車場の稼働を開始した。新たな駐車場は、以前よりも駐車台数が 100 台以上増えたことに加え、2 号館 2 階の入り口と直結しているため、患者さんの移動がよりスムーズになった。

○ 新たな治療の開発をめざして～悪性中皮腫(胸膜以外)に対する医師主導治験を開始

2020 年 10 月 1 日(木)、「ONO-4538(ニボルマブ)の悪性中皮腫(胸膜を除く)を対象とした第 2 相医師主導治験」の治験対象者の募集を開始した。

今回の医師主導治験は、悪性腹膜中皮腫、悪性心膜中皮腫、悪性精巣鞘膜中皮腫など、胸膜以外の中皮腫を対象とした、新たな治療開発を目的としている。悪性胸膜中皮腫に対しては、一次治療を PC 療法、二次治療をニボルマブ(遺伝子組換え)で行う治療法が承認されているが、胸膜以外の悪性中皮腫に対しては承認された治療法がなく、現在は保険適応外で悪性胸膜中皮腫に準じて PC 療法を行っている。本治験では、胸膜以外の悪性中皮腫患者を対象に、化学療法歴の有無にかかわらず、ニボルマブ(遺伝子組換え)(治験識別記号:ONO-4538、小野薬品工業)による治療法を開発するためのものであり、胸膜以外の悪性中皮腫に対しても、ニボルマブの有効性を検討しえる有意義な試験である。

○ 通院支援アプリ HOPE LifeMark-コンサルジュの導入について

6 月 1 日より通院支援アプリ HOPE LifeMark-コンサルジュを導入した。通院支援アプリは、患者自身のスマートフォンアプリにて予約状況等の各種情報の確認、来院前日の通知サービスや患者診察呼出モニタ(HOSPISION)と連動したスマートフォンへの診察呼出通知サービスが主な機能である。これにより外来患者待合スペースの混雑解消や患者サービスの向上が図られた。2022 年 3 月末時点の登録者数は約 6,800 人である。

○ 市民向け「阪神沿線健康講座」の開催

阪神沿線住民の健康増進を目的に、阪神電鉄と共同で 2015 年から阪神沿線各地で計 23 回開催しており、2021 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインで 3 回開催した。また、アーカイブも作成。オンライン開催のため阪神沿線以外の視聴者も増加し、好評を得た。

○ 他医療機関向け「兵医サタデーモーニングセミナー」の開催

コロナ禍でも当院からの情報発信、当院と他施設医療関係者の交流することを目的として、前年度に開催したオンラインセミナーの名前を一新し、「兵医サタデーモーニングセミナー」を開催した。

他の医療機関が参加しやすい土曜日早朝の診療前の時間に、原則第 1 土曜日として計 5 回開催し、各回とも当院からの情報提供、活発な意見交換が行われた。

○ COVID-19 感染症対応

2021 年 3 月 8 日～6 月 18 日	医療従事者対象ワクチン接種(1 回目・2 回目)を実施。
2021 年 4 月 13 日	EICU 病棟に於ける陽性重症患者病床数を 10 から 12 床に変更。
2021 年 5 月 1 日	兵庫県からの要請に基づきワクチン接種後遅発副反応の相談窓口を設置
2021 年 6 月以降	兵庫県及び西宮市における住民接種(大規模接種会場)に医師・看護師・薬剤師を派遣。
2021 年 6 月 14 日	8-2 病棟に中等症以下の陽性患者を対象としたコロナ対応病床の運用を開始。
2021 年 8 月 23 日～10 月 17 日	関西学院大学における職域接種に医師・看護師・薬剤師を派遣。
2021 年 9 月 4 日～21 日	10 階西病棟においてクラスターが発生。
2021 年 9 月 9 日～27 日	7 階東病棟においてクラスターが発生。
2022 年 1 月 11 日～2 月 18 日	医療従事者対象ワクチン接種(3 回目)を実施した。
2022 年 1 月中旬～下旬	8 階西・東病棟、10 階西病棟におけるクラスター発生に伴い、1 月 29 日にすべての病棟で予定入院、予定手術を中止(延期)した。
2022 年 2 月 3 日	8 階西病棟を中等症以下の陽性患者を対象としたコロナ対応病床の運用を開始した。(8 階東病棟は休棟)
2022 年 2 月 8 日	8 階西・東病棟、10 階西病棟を除く新規入院患者受け入れを再開。
～2022 年 2 月 9 日	病院長を中心とする COVID-19 会議の開催(全 33 回開催)
2022 年 2 月 10 日	10 階西病棟の新規入院患者受け入れを再開した。
2022 年 3 月 7 日	8 階西病棟の一般患者の入院を再開した。(8 階東病棟は 3 月末まで休棟)

○ 補助金等

(単位:円)

項 目	金 額
2021 令和 3 年度(令和 2 年度繰越分)インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金	74,671,000
2021 令和 3 年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金-1 ※一時金 25,290,000 円除く	10,271,000
2021 令和 3 年度新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関緊急支援事業補助金-2 ※一時金 84,390,000 円除く	17,528,000
2021 令和 3 年度(令和 2 年度繰越分)新型コロナウイルス感染症感染拡大防止・医療提供体制確保支援補助金	29,404,000
2021 令和 3 年度 肝疾患診療連携拠点病院補助事業補助金	2,856,000
2021 令和 3 年度 がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	8,000,000
2021 令和 3 年度 がんゲノム医療中核拠点病院等機能強化事業	20,000,000
2021 令和 3 年度 救命救急センター運営費補助金	62,264,000
2021 令和 3 年度 周産期母子医療センター運営費補助事業補助金	27,374,000
2021 令和 3 年度 産科医等育成・確保支援事業補助金	460,000
2021 令和 3 年度 新生児担当小児科医師確保支援事業補助金	268,000
2021 令和 3 年度 認知症地域医療連携体制強化事業費補助金	2,807,000
2021 令和 3 年度(令和 2 年度繰越分)新型コロナウイルス感染症入院医療機関支援事業補助金 (2021 年 3 月申請分)	18,804,000
2021 令和 3 年度新型コロナウイルス感染症入院医療機関支援事業補助金 (4 月 1 日～3 月 31 日実績分)	53,364,000
2021 令和 3 年度新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業補助金 (4 月 1 日～3 月 31 日実績分)	3,105,438,000
2021 令和 3 年度発熱等診療・検査医療機関等運営支援事業(GW 体制確保)補助金	45,000
年末年始中の開設体制確保補助金	90,000
2021 令和 3 年度新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関設備整備事業補助金(重点医療機関等設備整備(4 月 1 日～3 月 31 日実績分))	9,790,000
2021 令和 3 年度新型コロナウイルス感染症対策事業(新型コロナウイルス感染症患者入院医療機関設備整備事業)	26,418,000
2021 令和 3 年度外来医療体制整備事業補助金	849,000
2021 令和 3 年度感染症検査機関等設備整備事業補助金	2,479,000

時間外・休日のワクチン接種会場への医療従事者派遣事業補助金(4・12 月)		3,330,000
時間外・休日のワクチン接種会場への医療従事者派遣事業補助金(1・3 月)		917,000
2021 令和 3 年度保健衛生施設等施設・設備整備費国庫補助金		15,554,000
2021 令和 3 年度 エイズ診療従事者等研修に関する委託費		81,250
2021 令和 3 年度 HIV 感染者等保健福祉相談事業委託費		750,000
2020 精神科救急システム業務委託費		456,000
2021 年度 都道府県支援事業費助成金		750,000
2021 年度 院内体制整備支援事業助成金		13,000
2021 令和 3 年度肝炎情報センター戦略的強化事業委託費		1,900,000
2021 令和 3 年度兵庫県認知症疾患医療センター運営事業委託費		5,620,000
2021 令和 3 年度兵庫県圏域リハビリテーション支援センター運営業務委託費		1,489,000
2021 令和 3 年度兵庫県臓器移植コーディネーターの設置に関する委託費		5,354,000
2021 令和 3 年度兵庫県電動車いす等補装具判定業務委託費		557,728
医療従事者新型コロナウイルスワクチン接種委託費(院内)		26,470,125
西宮市新型コロナウイルス住民接種業務委託費		27,319,986
児童一時保護委託費		31,744
その他業務委託料		16,500
各種実習委託費等		36,395,052
受託病理組織検査費用		3,350,700
受託不在者投票経費		195,300
カルテ開示費用		230,900
合 計		3,603,962,285
(参考)	2020 年度合計	1,859,354,952
	2019 年度合計	142,610,000

○ 患者数実績

1. 大学病院

			対前年度
入院患者数	延患者数(在院+退院)	276,121 人	96.2%
	一日平均	756.5 人	96.2%
	平均在院日数(一般)	11.7 日	+0.1 日
	平均在院日数(全体)	12.0 日	±0 日
外来患者数	延患者数	631,433 人	104.8%
	一日平均	2,356.1 人	104.4%

2. 健康医学クリニック

			対前年度
人間ドック健診者数	延ドック健診患者数	2,396 人	122.7%
	一日平均	8.94 人	106.2%
クリニック患者数	延患者数	652 人	100.5%
	一日平均	2.21 人	90.6%
職員健診者数	延職員健診者数	4,318 人	97.7%
	一日平均	23.09 人	89.3%
学生健診者数	延学生健診者数	822 人	77.0%
	一日平均	63.23 人	94.7%

5. 篠山キャンパス

○ 丹波圏域 発熱等受診・相談センターの設置

兵庫県からの委託を受け、2021 年 4 月 1 日より丹波圏域の発熱等受診・相談センターを設置し、丹波地域住民からの発熱時の相談及び受診医療機関（発熱等診療・検査医療機関）の案内業務を行った（2068 件／年）。また、新型コロナウイルス罹患者発生時に、軽症者の診療及び検査を迅速に行うため、従来の保健所を介して受入れを行うのではなく、開業医から直接受入要請を受け対応する「新丹波方式」を立ち上げ、他院での陽性判定者について、当センターでメディカルチェックを実施し入院もしくは自宅療養等の判定を行った。

○ 重点医療機関の認定

ささやま医療センターは、2020 年 12 月 7 日から新型コロナ陽性者受入病床を 4 床確保し、その後 8 床に増床し軽症患者の受入を行っていたが、感染拡大期には丹波地域においても患者数が増加し、空きベッド数が逼迫してきたため、兵庫県のベッド増床計画を受け 19 床に拡大するために 1 病棟（3 階西病棟）全てを新型コロナ患者専用病棟として運用を開始した。このことにより、重点医療機関として認定を受けた。

○ コロナワクチン接種への取組

2021 年 4 月より丹波篠山市及び医師会等からの要請を受け、期間を定め院内にワクチン接種会場を設置。受付から接種後の経過観察まで職員で対応し、職員から地域住民（小児～高齢者）のワクチン接種促進を行い、地域の感染対策に取り組んだ。（ワクチン接種者 10374 名／年）

○ 公設民営を目指した病院再編、効率化による地域医療体制構築の検討開始

ささやま医療センターと医療法人社団紀洋会（岡本病院）の病床規模、病床機能については、2021 年 12 月に丹波篠山市からコンサル会社のコンサル結果の報告が行われた。

この報告では、ささやま医療センターの病床数、病床機能は現行通りとし、岡本病院は一般病床をなくして介護医療院等へ転換し、救急医療機能と急性期医療機能をささやま医療センターに集約することが望ましいとされた。また、ささやま医療センターの経営形態について優先順位がつけられており、1 番は現行通り丹波篠山市と学校法人兵庫医科大学との協定方式、2 番目は学校法人兵庫医科大学を指定管理者とする指定管理者制度、3 番目はその他の法人を指定管理者とする指定管理者制度、4 番目は独立行政法人化もしくは市の直営方式である旨併せて報告があった。

○ その他の活動

1. 機能強化型訪問看護ステーション I の体制整備

ささやま訪問看護ステーションは、24 時間対応で重症者対応や看取り対応できる体制を整え、2021 年 6 月より機能強化型訪問看護療養費 I の施設基準を満たす丹波圏域で初めての訪問看護ステーションとして許認可を受けた。

2. ICT の活用による外来診療における感染対策

外来患者が来院前に自身のスマートフォンで問診を入力する AI 問診を導入し、院内での問診時間を短縮することにより滞在時間が短くなるよう感染対策を講じた。また、ヘルスケアパスポートを導入し、コロナ患者を中心に、検査結果及び簡単な説明をオンラインで提供することが可能となった。また、バイタル等を患者自身が自宅での測定結果を入力することで、病院側が閲覧し異常等を検知できる仕組みを構築した。

○ 補助金等

(単

位:円)

項 目		金 額
ささやま医療センター運営費補助金		126,000,000 円
丹波篠山市救急医療対策事業補助金		56,156,000 円
病院内保育所運営事業補助金		1,274,000 円
へき地医療拠点病院運営事業補助金		1,398,000 円
新人看護職員卒後臨床研修事業補助金		428,000 円
丹波医療圏病院群輪番制補助金		6,001,800 円
丹波医療圏小児救急輪番制補助金		2,521,806 円
ひょうご保育料軽減事業補助金		150,000 円
2021 新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関		99,000,000 円
2021 新型コロナウイルス感染症対策事業(入院病床の確保)※一般医療機関分		10,504,000 円
2021 新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業		679,186,000 円
2021 新型コロナウイルス感染症入院医療機関支援事業補助金		43,087,000 円
2021 発熱等診療・検査医療機関等運営支援事業(ゴールデンウィーク中の体制確保)		105,000 円
2021 発熱等診療・検査医療機関等運営支援事業(年末年始の体制確保)		90,000 円
発熱等受診・相談センター運営委託費		1,965,700 円
新型コロナウイルスワクチン個別接種促進支援事業支援金		14,336,050 円
ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金(寄付金)		1,000,000 円
☆2021 在宅看護体制機能強化事業補助金		2,408,000 円
合 計		1,045,611,356 円
(参考)	2020 年度 合計	526,406,846 円
	2019 年度 合計	191,835,232 円

☆・・・居宅サービスセンター

○ 患者数実績

1. ささやま医療センター

			対前年度
入院患者数	延患者数(在院＋退院)	46,323 人	91.3%
	1 日平均	126.9 人	91.3%
	平均在院日数(一般)	15.6 日	-1.9 日
	平均在院日数(回復期リハ)	80.0 日	-10.3 日
外来医患者数	延患者数	57,057 人	93.1%
	1 日平均	233.8 人	93.0%

※外来患者数には入院中外来患者を含む

2. 老人保健施設

			対前年度
入所利用者数	延利用者数(長期＋短期)	34,007 人	99.8%
	1 日平均(全体)	93.2 人	99.8%
	平均利用日数(長期)	195.1 日	-2.9 日
	平均利用日数(短期)	6.0 日	+0.6 日
通所利用者数	延利用者数	13,508 人	97.6%
	1 日平均	54.5 人	97.7%

3. 居宅サービスセンター

			対前年度
訪問看護	利用者数	1,220 人	120.3%
	訪問回数	6,169 回	125.1%
訪問介護	利用者数	124 人	131.9%
	訪問回数	785 回	138.2%
定期巡回	利用者数	145 人	125.0%
	介護訪問回数	6,038 回	120.9%
	看護訪問回数	266 回	104.7%
居宅介護支援	件数	1,735 件	97.5%

6. 神戸キャンパス

○ 新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルス感染症対応については、2021年3月17日(水)の大学協議会において、教職員及び学生の健康管理、学内施設等の利用、施設的环境維持、講義・実習等、学外実習、学内での飲食、感染予防対策物品等についてのガイドラインを現状に則して見直した。

また、対面授業の割合を増やすなど、新型コロナウイルス感染症対応の各ガイドラインを状況に応じて見直すことで大きな問題なく運営ができた。オープンキャンパス等の行事については、緊急事態宣言の影響により一部開催できなかったが、Web版のオープンキャンパスに切り替える等で実施した。

○ その他の活動

1. コロナ禍における広報活動

新型コロナウイルス感染拡大により、従来実施していた対面型のイベントが一部中止となったため、Webを中心としたイベント及び募集広報を実施した。

2. 大学統合に係る広報計画の遂行

高大連携協定を締結している協定校と新たに重点的に高校訪問を行う重点校を選定し、協定校は年3回、重点校は年2回、計画どおり高校訪問を行った。コロナ禍であったが高等学校教員対象の入試説明会を開催し統合に関する周知を行った。

大学案内等の広報資料は4学部構成のものを作成し、また、2大学統合に関する募集ビジュアルを作成し、5月・11月に交通広告の展開、受験生・高校生へダイレクトメールを行った。

協定校については、大学統合後も兵庫医科大学として、協定校の枠組みを維持し連携校とし、新たな連携校を加えて統合後の広報活動を新たにスタートすることとした。

○ 国家試験

第107回 薬剤師国家試験

区 分	6 年 制 新 卒			6 年 制 既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率< % >	受験者数	合格者数	合格率< % >
本 学	101	78	77.2	112	32	28.6
本学(2020年度)	100	83	83.0	112	42	37.5
本学(2019年度)	112	94	83.9	115	41	35.7
全 国	8,665	7,386	85.2	5,217	2,126	40.8

第111回 看護師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率< % >	受験者数	合格者数	合格率< % >
本 学	92	92	100.0	1	0	0.0
本学(2020年度)	122	121	99.2	1	1	100.0
本学(2019年度)	104	104	100.0	1	1	100.0
全 国	59,148	57,057	96.5	5,877	2,287	38.9

第108回 保健師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率< % >	受験者数	合格者数	合格率< % >
本 学	30	30	100.0			
本学(2020年度)	30	30	100.0			
本学(2019年度)	30	30	100.0			
全 国	7,504	6,975	93.0	444	119	26.8

第 105 回 助産師国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	7	7	100.0			
本学(2020 年度)	7	7	100.0			
本学(2019 年度)	7	7	100.0			
全 国	2,078	2,071	99.7	11	6	54.5

第 57 回 理学療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	45	45	100.0			
本学(2020 年度)	46	46	100.0			
本学(2019 年度)	47	47	100.0	1	1	100.0
全 国	10,549	9,296	88.1	2,136	800	37.5

第 57 回 作業療法士国家試験

区 分	新 卒			既 卒		
	受験者数	合格者数	合格率<%>	受験者数	合格者数	合格率<%>
本 学	48	47	97.9			
本学(2020 年度)	42	41	97.6	1	1	100.0
本学(2019 年度)	39	38	97.4	7	5	71.4
全 国	4,861	4,311	88.7	862	297	34.5

○ 進級認定数(2022 年 3 月 31 日現在)

学部・学科	学年	学生数	進級 (卒業)	留年	退学	除籍
薬学部 医療薬学科	1	122	101	13	8	0
	2	179	101	58	17	3
	3	147	114	24	9	0
	4	146	127	16	2	1
	5	133	131 ※1	2	0	0
	6	155	(131) ※2	24	0	0
看護学部 看護学科	1	114	111	0	2	1
	2	115	107	6	2	0
	3	105	102	2	1	0
	4	92	(92)	0	0	0
リハビリテーション学部 理学療法学科	1	48	48	0	0	0
	2	46	42	2	2	0
	3	45	44	0	1	0
	4	46	(45)	1	0	0

リハビリテーション学部 作業療法学科	1	43	40	0	3	0
	2	44	42	2	0	0
	3	41	37	3	1	0
	4	49	(48)	1	0	0
合 計		1,670	1,147 (316)	154	48	5

※1 薬学部第5年次の進級者については、5月教授会決定のため予定数。

※2 秋期卒業者数30名を含む。

○ 学部学生数(2022年4月1日現在)

学 部	学 科	第1学 年次	第2学 年次	第3学 年次	第4学 年次	第5学 年次	第6学 年次	合計
薬学部	医療薬学科	151	159	125	130	129	155	849
看護学部	看護学科	109	117	109	102			437
リハビリ テーション 学部	理学療法学科	53	50	42	45			190
	作業療法学科	46	42	45	38			171
合 計		359	368	321	315	129	155	1,647

○ 大学院生数(2022年4月1日現在)

薬学 研究科	研究指導科目分野	1年	2年	3年	4年
	応用医療薬学	1	0	0	1
	免疫制御学	0	0	1	0
	神経病態制御学	0	0	1	0
	医薬品化学	0	0	1	1
	創薬化学	3	0	0	0
	呼吸器疾患病態治療学	0	1	0	0
	合 計	4	1	3	2

看護学 研究科	分野	特定分野	1年	2年
	基盤看護学	基礎看護学	2	0
		看護教育学	0	0
		看護開発科学	1	1
	療養支援看護学	急性看護学	0	2
		がん看護学	3	4
		慢性看護学	3	2
		精神看護学	0	0
	家族支援看護学	小児看護学	0	0
		母性看護学	0	2
		助産学	0	0
	生活支援看護学	老年看護学	0	0
		地域看護学	0	0
		在宅看護学	0	2
	合 計		9	13

医 療 科 学 研 究 科	分野	コース	1 年	2 年
	病態運動学	運動器障害	2	0
		内部障害	3	3
		神経障害	2	5
	人間活動科学	身体・認知活動	1	0
		精神活動	0	1
	合 計		8	9

○ 職業実践力育成プログラム(BP) (2022 年 4 月 1 日現在)

プログラム・コース	修業年限	入学定員	受講者数
地域在宅看護実践力育成プログラム	1	20	7
PT・OT 臨床カステップアッププログラム	1	10	18
リハビリテーション科学課題研究コース	2	8	0

○ 2022 年度各学部入学試験

1. 薬学部

区分			募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
学校推薦型選抜	専願公募制前期日程	スタンダード型	25	29	29	27	26
		特定科目重視型		23	23	21	0
	公募制 S 日程		14	67	66	62	14
	公募制 A 日程		18	82	81	75	12
	専願公募制後期日程		6	7	7	6	6
	公募制 B 日程		12	18	17	16	7
一般選抜	前期 A 日程	スタンダード型	33	108	104	91	34
		特定科目重視型		65	62	54	0
	前期 B 日程	スタンダード型	20	79	76	70	15
		特定科目重視型		49	47	40	1
		共通テスト活用型		20	18	10	0
	中期日程		8	32	29	28	12
	後期日程		5	18	12	11	5
大学入学共通 テスト利用入試	学力重視型前期日程		5	59	58	44	4
	面接併用型		2	3	3	1	0
	学力重視型後期日程		2	4	4	4	2
合 計			150	663	636	560	138

2. 看護学部

区分			募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
学校推薦型選抜	専願公募制前期日程		20	116	115	41	41
	公募制 S 日程		10	156	155	32	7
	公募制 A 日程		15	305	305	96	39
一般選抜	前期 A 日程	スタンダード型	30	221	210	33	5
		特定科目重視型		185	176	22	1
	前期 B 日程	スタンダード型	14	225	217	24	3
		特定科目重視型		199	192	22	1
		共通テスト活用型		90	88	12	0
	後期日程		5	70	68	12	8
大学入学共通 テスト利用入試	学力重視型前期日程		3	106	103	16	2
	面接併用型		3	12	12	4	2
合 計			100	1685	1641	314	109

2. リハビリテーション学部

(1) 理学療法学科

区分			募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
学校推薦型選抜	専願公募制前期日程		13	75	74	24	24
	公募制 A 日程		5	124	123	25	13
一般選抜	前期 A 日程	スタンダード型	12	87	85	12	6
		特定科目重視型		75	73	9	0
	前期 B 日程	スタンダード型	6	96	94	13	4
		特定科目重視型		79	79	10	2
		共通テスト活用型		50	50	6	0
大学入学共通 テスト利用入試	学力重視型前期日程		2	51	51	5	0
	面接併用型		2	9	9	6	4
合 計			40	646	638	110	53

(2) 作業療法学科

区分			募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
学校推薦型選抜	専願公募制前期日程		16	27	26	22	22
	公募制 A 日程		4	43	40	20	7
一般選抜	前期 A 日程	スタンダード型	10	29	29	18	3
		特定科目重視型		25	25	16	5
	前期 B 日程	スタンダード型	6	24	24	17	7
		特定科目重視型		21	21	12	2
		共通テスト活用型		10	10	5	0
大学入学共通 テスト利用入試	学力重視型前期日程		2	13	12	6	0
	面接併用型		2	1	1	0	0
合 計			40	193	188	116	46

○ 2022 年度 大学院入学試験

区分		募集人員	出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
薬学研究科	I 期	3	3	3	3	3
	II 期	若干名	1	1	1	1
看護学研究科	I 期	8	6	6	4	4
	II 期	若干名	5	5	5	5
医療科学研究科	I 期	8	6	6	6	6
	II 期	若干名	2	2	2	2

○ 補 助 金

1. 2021 年度私立大学等改革総合支援事業

私立大学等改革総合支援事業については「タイプ 3:地域社会への貢献(地域連携型)」が選定された。選定結果は下記のとおりである。

	得点
タイプ 3:地域社会への貢献(地域連携型)	34 点／満点 53 点 ※選定基準 33 点以上

2. 2021 年度科学研究費獲得実績

(単位:千円)

研究種目名		件数	直接経費	間接経費	交付額
基盤研究(B)		1	1,600	480	2,080
基盤研究(C)		26	23,500	7,050	30,550
若手研究		14	9,300	2,790	12,090
合 計		41	34,400	10,320	44,720
(参考)	2020 年度合計	39	38,600	11,580	50,180
	2019 年度合計	45	44,900	13,470	58,370

○ 2021 年度就職状況

学部		薬学部	看護学部	リハビリテーション学部	
学科		医療薬学科	看護学科	理学療法学科	作業療法学科
卒業者数		131※1	92	45	48
内訳	就職者数	75	91	44	44
	進学者数	1	0	1	1
	その他※2	55	1	0	3

※1 2021 年度秋季卒業生を含む

※2 国家試験や就職に向けて準備中または不明の者

Ⅲ 財務の概要

○2021年度決算について

1. 概要

2021年度は、新病院棟建設に加え、大学統合、梅田健康医学クリニック開設という主要プロジェクトの完遂に向けた経営基盤安定のため、持続的投資を可能とする基本金組入前当年度収支差額 1,623 百万円を期初予算に計上した。前年同様、新型コロナウイルス感染症により、教育・研究・診療に大きな影響を受けたものの、業務運営の効率化や経費コントロール強化への一層の取組みに加えて、多額の公的支援という特殊要因もあり、基本金組入前当年度収支差額は、期初予算比 4,971 百万円増、前年度比 2,036 百万円増の 6,594 百万円の黒字決算となった。

2. 事業活動収支計算書(表 1・2 及びグラフ)

<教育活動収支>

① 教育活動収入

教育活動収入は 62,345 百万円となり、前年度比 3,854 百万円の増収となった。

教育活動収入の大半を占める西宮本院の医療収入は、新型コロナウイルス感染症の影響などによる病床稼働率の低下を入院単価の上昇でカバーしたことに加えて、外来患者数の増加、外来単価の上昇が大きく寄与したため、前年度比 1,071 百万円増の 40,494 百万円となった。

また、経常費等補助金は、経常費補助金が前年度比 192 百万円減少した一方で、感染症対策に係る補助金が前年度比 2,539 百万円増加したことから、前年度比 2,423 百万円増の 6,227 百万円となった。

② 教育活動支出

教育活動支出は、56,105 百万円となり、前年度比 1,611 百万円の増加となった。

人件費は、コロナ感染症対応の諸手当、退職金関連費用、新たに導入した退職年金確定拠出金の増加により、前年度比 465 百万円増の 23,924 百万円となった。

一方、教育研究経費は、奨学費などが減少したものの、修繕費、光熱水費、損害保険料が増加したため、前年度比 299 百万円増の 5,094 百万円となった。

また、医療経費は、高額医薬品の使用増加に伴う薬品費の増加などにより、前年度比 799 百万円増の 25,519 百万円となった。この結果、医療収支差額は前年度比 256 百万円の改善となった。

<教育活動外収支>

教育活動外収支は、有価証券の積み増し・入替えなどにより、受取利息・配当金収入が増加したため、前年度比 34 百万円増の 117 百万円となった。

<特別収支>

開学 50 周年記念事業募金に係る施設設備寄付金が増加したものの、前年度増加した

有価証券売却差額や施設設備補助金が減少したことなどにより、特別収支は前年度比 242 百万円減少し、236 百万円となった。

3. 資金収支計算書(表3)

資金収支については、資金運用により資産運用支出が資産売却収入を上回ったが、その他の収入の増加、支出の減少により、翌年度繰越支払資金（現金預金）は、2020 年度末 13,301 百万円より 533 百万円増加し、13,834 百万円となった。

4. 貸借対照表(表 4)

2021 年度末の貸借対照表の純資産（資産の部－負債の部）は、資産の部の大幅増加に対し、負債の部は微増にとどまったことから、前年度末比 6,594 百万円増の 81,481 百万円となった。

資産の部は、余剰資金の効率的な運用に伴い有価証券等が増加した一方、減価償却費の計上等により、7,061 百万円増加し 110,659 百万円となった。

負債の部は、退職給与引当金、未払金が増加した一方、借入金、前受金が減少した結果、468 百万円増加し 29,178 百万円となりました。

なお、2021 年度末の総保有資金残高は、前年度比 8,103 百万円増の 34,243 百万円となった。

5. 主要財務比率の推移(表 5)

表 5 にて財務比率の推移を表している。比率の意味、主な留意点等を表の次頁に記載している。

6. キャッシュ・フローの推移(表 6)

「教育研究活動」「施設等整備活動」「財務活動」の活動区分ごとのキャッシュ・フローの推移を表している。それぞれのキャッシュ・フロー計算書は、他の会計基準とほぼ同様の区分等の手法を採用して作成している。

以上

表1

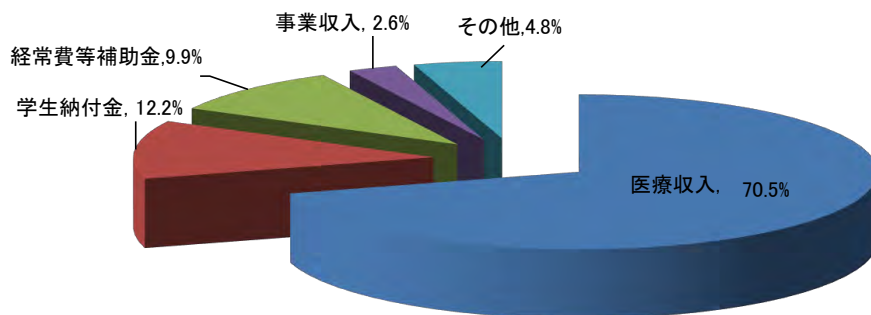
2021年度事業活動収支計算書

(単位:円)

事業活動収入の部			事業活動支出の部		
科目	金額	比率(%)	科目	金額	比率(%)
学生納付金	7,640,736,466	12.2%	人件費	23,923,856,823	42.6%
寄付金	1,753,809,440	2.8%	教育研究経費	5,094,405,386	9.1%
経常費等補助金	6,226,610,487	9.9%	医療経費	25,518,851,408	45.4%
事業収入	1,656,141,121	2.6%	管理経費	1,548,043,421	2.8%
医療収入	44,265,500,346	70.5%	その他	19,748,223	0.0%
その他	801,944,843	1.3%			
教育活動収入計	62,344,742,703		教育活動支出計	56,104,905,261	
受取利息・配当金等	148,672,477	0.2%	借入金等利息	31,188,322	0.1%
教育活動外収入計	148,672,477		教育活動外支出	31,188,322	
資産売却差額	11,986,000	0.0%	資産処分差額等	41,135,592	0.1%
その他の特別収入	265,345,834	0.4%			
特別収入計	277,331,834		特別支出計	41,135,592	
事業活動収入計	62,770,747,014	100.0%	事業活動支出計	56,177,229,175	100.0%
基本金組入額	△ 3,183,836,188		基本金組入前当年度収支差額	6,593,517,839	
			当年度収支差額	3,409,681,651	

2021年度決算構成比率

【事業活動収入の部】



【事業活動支出の部】

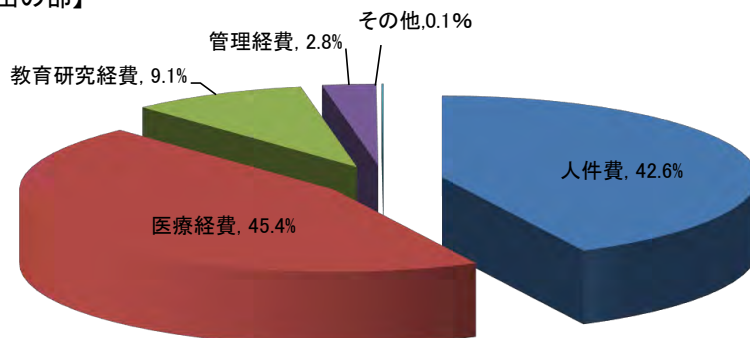


表2

事業活動収支計算書

2021年 4月 1日から
2022年 3月 31日まで

(単位:円)

事業活動収入の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
学 生 納 付 金	7,449,275,000	7,439,939,980	9,335,020	
手 数 料	248,546,000	200,796,486	47,749,514	
寄 付 金	1,782,507,000	1,753,809,440	28,697,560	
経 常 費 等 補 助 金	2,524,403,000	6,226,610,487	△ 3,702,207,487	
国庫補助金	2,209,256,000	2,213,299,680	△ 4,043,680	
地方公共団体補助金	315,147,000	4,013,310,807	△ 3,698,163,807	
付 随 事 業 収 入	45,774,456,000	45,921,641,467	△ 147,185,467	
事 業 収 入	1,483,611,000	1,656,141,121	△ 172,530,121	
医 療 収 入	44,290,845,000	44,265,500,346	25,344,654	
雑 収 入	601,309,000	801,944,843	△ 200,635,843	
教 育 活 動 収 入 計	58,380,496,000	62,344,742,703	△ 3,964,246,703	
受 取 利 息 ・ 配 当 金	146,702,000	148,672,477	△ 1,970,477	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	0	0	
教 育 活 動 外 収 入 計	146,702,000	148,672,477	△ 1,970,477	
資 産 売 却 差 額	0	11,986,000	△ 11,986,000	
そ の 他 の 特 別 収 入	25,912,000	265,345,834	△ 239,433,834	
特 別 収 入 計	25,912,000	277,331,834	△ 251,419,834	
事 業 活 動 収 入 の 部 合 計	58,553,110,000	62,770,747,014	△ 4,217,637,014	
事業活動支出の部				
科 目	予 算	決 算	差 異	
人 件 費	23,424,654,000	23,923,856,823	△ 499,202,823	
教 職 員 等 人 件 費	22,599,068,000	23,001,408,163	△ 402,340,163	
退職給与引当金繰入額	757,132,000	840,566,060	△ 83,434,060	
退 職 金	68,454,000	81,882,600	△ 13,428,600	
教 育 研 究 経 費	5,449,080,000	5,094,405,386	354,674,614	
医 療 経 費	26,118,946,000	25,518,851,408	600,094,592	
管 理 経 費	1,705,156,000	1,548,043,421	157,112,579	
徴 収 不 能 額 等	0	19,748,223	△ 19,748,223	
教 育 活 動 支 出 計	56,697,836,000	56,104,905,261	592,930,739	
借 入 金 等 利 息	31,295,000	31,188,322	106,678	
そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	0	0	
教 育 活 動 外 支 出 計	31,295,000	31,188,322	106,678	
資 産 処 分 差 額	1,000,000	30,696,812	△ 29,696,812	
そ の 他 の 特 別 支 出	0	10,438,780	△ 10,438,780	
特 別 支 出 計	1,000,000	41,135,592	△ 40,135,592	
[予 備 費]	[103,009,359]			
	96,990,641		96,990,641	
事 業 活 動 支 出 の 部 合 計	56,930,131,000	56,177,229,175	752,901,825	
基本金組入前当年度収支差額	1,622,979,000	6,593,517,839	△ 4,970,538,839	
基 本 金 組 入 額 合 計	△ 4,599,305,000	△ 3,183,836,188	△ 1,415,468,812	
当 年 度 収 支 差 額	△ 2,976,326,000	3,409,681,651	△ 6,386,007,651	
前 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 43,802,948,944	△ 43,802,948,944	0	
基 本 金 取 崩 額	0	0	0	
翌 年 度 繰 越 収 支 差 額	△ 46,779,274,944	△ 40,393,267,293	△ 6,386,007,651	

(参考)

事業活動収入計	58,553,110,000	62,770,747,014	△ 4,217,637,014
事業活動支出計	56,930,131,000	56,177,229,175	752,901,825

表3

資金収支計算書

2021年 4月 1日から
2022年 3月 31日まで

(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学 生 納 付 金 収 入	7,449,275,000	7,439,939,980	9,335,020
手 数 料 収 入	248,546,000	200,796,486	47,749,514
寄 付 金 収 入	694,276,000	735,863,030	△ 41,587,030
補 助 金 収 入	2,524,403,000	6,325,982,487	△ 3,801,579,487
国庫補助金収入	2,209,256,000	2,258,430,680	△ 49,174,680
地方公共団体補助金収入	315,147,000	4,067,551,807	△ 3,752,404,807
資 産 売 却 収 入	0	3,225,228,000	△ 3,225,228,000
付 随 事 業・収 益 事 業 収 入	45,774,456,000	45,921,641,467	△ 147,185,467
事 業 収 入	1,483,611,000	1,656,141,121	△ 172,530,121
医 療 収 入	44,290,845,000	44,265,500,346	25,344,654
受 取 利 息・配 当 金 収 入	146,702,000	148,672,477	△ 1,970,477
雑 収 入	601,309,000	799,409,914	△ 198,100,914
借 入 金 等 収 入	230,680,000	243,480,509	△ 12,800,509
前 受 金 収 入	984,645,000	1,115,201,658	△ 130,556,658
そ の 他 の 収 入	10,626,549,960	10,434,685,226	191,864,734
資 金 収 入 調 整 勘 定	△ 10,748,587,316	△ 11,390,447,060	641,859,744
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	13,300,825,094	13,300,825,094	
収 入 の 部 合 計	71,833,079,738	78,501,279,268	△ 6,668,199,530
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	23,319,042,000	23,658,191,663	△ 339,149,663
教職員等人件費支出	22,599,068,000	23,001,408,163	△ 402,340,163
退職金支出	719,974,000	656,783,500	63,190,500
教 育 研 究 経 費 支 出	3,804,085,000	3,340,333,503	463,751,497
医 療 経 費 支 出	23,772,287,000	23,150,274,686	622,012,314
管 理 経 費 支 出	1,551,004,000	1,399,698,501	151,305,499
借 入 金 等 利 息 支 出	31,295,000	31,188,322	106,678
借 入 金 等 返 済 支 出	842,799,000	861,335,972	△ 18,536,972
施 設 関 係 支 出	868,277,000	702,638,880	165,638,120
設 備 関 係 支 出	1,721,304,000	1,449,746,272	271,557,728
資 産 運 用 支 出	500,000,000	10,800,000,000	△ 10,300,000,000
そ の 他 の 支 出	6,877,435,973	6,652,987,249	224,448,724
[予 備 費]	[192,742,959 7,257,041		7,257,041
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 7,174,401,683	△ 7,378,947,843	204,546,160
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	15,519,952,448	13,833,832,063	1,686,120,385
支 出 の 部 合 計	71,833,079,738	78,501,279,268	△ 6,668,199,530

表4

貸 借 対 照 表

2022年 3月 31日

(単位:円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 資 産	80,799,150,609	78,087,335,108	2,711,815,501
有 形 固 定 資 産	58,779,856,474	60,814,214,197	△ 2,034,357,723
土 地	15,585,027,616	15,585,027,616	0
建 物 ・ 構 築 物	34,266,789,108	36,126,452,560	△ 1,859,663,452
教 育 研 究 用 機 器 備 品	7,866,908,754	8,297,283,463	△ 430,374,709
管 理 用 機 器 備 品	180,893,424	183,811,798	△ 2,918,374
図 書	378,011,552	366,753,470	11,258,082
建 設 仮 勘 定	489,830,000	242,770,000	247,060,000
そ の 他	12,396,020	12,115,290	280,730
特 定 資 産	6,929,300,000	5,322,436,000	1,606,864,000
退 職 給 与 引 当 特 定 資 産	1,000,000,000	1,009,136,000	△ 9,136,000
教 育 施 設 設 備 等 引 当 特 定 資 産	200,000,000	200,000,000	0
第 2 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産	2,002,700,000	1,502,700,000	500,000,000
第 3 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産	3,726,600,000	2,610,600,000	1,116,000,000
そ の 他 の 固 定 資 産	15,089,994,135	11,950,684,911	3,139,309,224
そ の 他	15,089,994,135	11,950,684,911	3,139,309,224
流 動 資 産	29,859,679,976	25,510,201,354	4,349,478,622
現 金 預 金	13,833,832,063	13,300,825,094	533,006,969
有 価 証 券	5,300,000,000	1,300,000,000	4,000,000,000
そ の 他	10,725,847,913	10,909,376,260	△ 183,528,347
資 産 の 部 合 計	110,658,830,585	103,597,536,462	7,061,294,123
負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固 定 負 債	19,208,475,217	19,757,522,944	△ 549,047,727
長 期 借 入 金	9,239,287,000	9,909,777,000	△ 670,490,000
退 職 給 与 引 当 金	7,290,712,737	7,025,047,577	265,665,160
長 期 未 払 金	333,233,880	347,165,567	△ 13,931,687
長 期 前 受 金	2,345,241,600	2,475,532,800	△ 130,291,200
流 動 負 債	9,969,806,371	8,952,982,360	1,016,824,011
短 期 借 入 金	913,970,509	861,335,972	52,634,537
1 年 以 内 償 還 予 定 学 校 債	10,000,000	10,000,000	0
前 受 金	1,245,492,858	1,244,430,316	1,062,542
そ の 他	7,800,343,004	6,837,216,072	963,126,932
負 債 の 部 合 計	29,178,281,588	28,710,505,304	467,776,284
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基 本 金	121,873,816,290	118,689,980,102	3,183,836,188
第 1 号 基 本 金	112,373,516,290	110,805,680,102	1,567,836,188
第 2 号 基 本 金	2,002,700,000	1,502,700,000	500,000,000
第 3 号 基 本 金	3,726,600,000	2,610,600,000	1,116,000,000
第 4 号 基 本 金	3,771,000,000	3,771,000,000	0
繰越収支差額	△ 40,393,267,293	△ 43,802,948,944	3,409,681,651
翌年度繰越収支差額	△ 40,393,267,293	△ 43,802,948,944	3,409,681,651
純 資 産 の 部 合 計	81,480,548,997	74,887,031,158	6,593,517,839
負債及び純資産の部合計	110,658,830,585	103,597,536,462	7,061,294,123

注記 減価償却額の累計額
基本金未組入額

63,633,864,765 円
10,220,265,144 円

表5

主要な財務比率の推移

貸借対照表関係財務比率

		2017	2018	2019	2020	2021
① 固定比率	固定資産／純資産(自己資金)	105.3%	106.7%	106.6%	104.3%	99.2%
② 固定長期適合率	固定資産／純資産(自己資金)＋固定負債	81.7%	84.1%	84.6%	82.5%	80.2%
③ 流動比率	流動資産／流動負債	246.5%	226.9%	239.2%	284.9%	299.5%
④ 総負債比率	総負債／総資産	31.0%	30.0%	28.6%	27.7%	26.4%
⑤ 退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	12.1%	15.2%	14.7%	14.4%	13.7%
⑥ 基本金比率	基本金／基本金要組入額	87.9%	90.0%	92.5%	94.5%	96.4%

・ 純資産 = 基本金 + 繰越収支差額 (自己資金 = 基本金 + 消費収支超過額)

事業活動収支計算書関係財務比率

		2017	2018	2019	2020	2021
① 人件費比率	人件費／経常収入	42.9%	41.1%	39.5%	40.0%	38.3%
② 教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	10.3%	10.6%	8.5%	8.2%	8.2%
③ 医療経費比率	医療経費／経常収入	40.7%	41.6%	43.1%	42.2%	40.8%
④ 借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
⑤ 基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	91.2%	100.7%	101.9%	98.8%	94.3%
⑥ 学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	14.2%	13.6%	13.0%	12.8%	11.9%
⑦ 事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	5.0%	2.0%	5.8%	7.7%	10.5%

・ 経常収入 = 教育活動収入 + 教育活動外収入

財務数値(貸借対照表関係)

(単位:百万円)

	2017	2018	2019	2020	2021
1 固定資産	69,231	71,440	74,959	78,087	80,799
2 流動資産	26,048	24,213	23,536	25,510	29,860
3 純資産(自己資金)	65,770	66,925	70,329	74,887	81,481
4 固定負債	18,944	18,056	18,326	19,758	19,208
5 流動負債	10,565	10,672	9,840	8,953	9,970
6 総資産	95,279	95,653	98,495	103,598	110,659
7 総負債	29,509	28,728	28,166	28,711	29,178
8 退職給与引当特定資産	800	1,015	1,015	1,009	1,000
9 退職給与引当金	6,633	6,684	6,908	7,025	7,291
10 基本金	110,467	110,344	114,790	118,690	121,874
11 基本金要組入額	125,735	122,590	124,073	125,568	126,365

財務数値(事業活動支計算書関係)

	2017	2018	2019	2020	2021
1 人件費	23,095	23,188	22,985	23,459	23,924
2 教育研究経費	5,554	5,951	4,965	4,796	5,094
3 医療経費	21,888	23,462	25,043	24,720	25,519
4 借入金等利息	46	44	38	34	31
5 事業活動収入(帰属収入)	55,310	56,471	58,318	59,205	62,771
6 経常収入	53,830	56,405	58,137	58,609	62,493
7 事業活動収入－基本金組入額 (消費収入)	57,622	54,954	53,872	55,304	59,587
8 事業活動支出(消費支出)	52,565	55,316	54,913	54,647	56,177
9 学生生徒納付金収入	7,639	7,671	7,572	7,527	7,440

財務比率の説明

貸借対照表関係財務比率

- | | |
|-----------------|---|
| ① 固定比率 | 固定資産の純資産に対する割合で、土地、建物、施設等の固定資産にどの程度純資産が投下されているか、資金の調達源泉とその使途とを対比させる関係比率である。低い値がよい。 |
| ② 固定長期適合率 | 固定資産の、純資産と固定負債を合計した長期資金に対する割合である。低い値がよい。 |
| ③ 流動比率 | 流動負債に対する流動資産の割合。1年以内に償還しなければならない流動負債に対して、現金預金又は1年以内に現金化が可能な流動資産がどの程度用意されているかという資金流動性すなわち短期的な支払能力を判断する重要な指標の一つ。一般に金融機関等では、200%以上であれば優良とみなしており、100%を切っている場合には、流動負債を固定資産に投下していることが多く、資金繰りに窮しているとみることができる。したがって、高い値がよい。 |
| ④ 総負債比率 | 固定負債と流動負債を合計した負債総額の総資産に対する割合。この比率は、総資産に対する他人資金の比重を評価する極めて重要な関係比率である。低い値がよい。 |
| ⑤ 退職給与引当特定資産保有率 | 固定負債の中の退職給与引当金と、その他の固定資産の中の退職給与引当特定資産との関係比率である。高い値がよい。 |
| ⑥ 基本金比率 | 基本金組入対象資産額である要組入額に対する組入済基本金の割合。この比率の上限は100%であり、100%に近いほど未組入額が少ないことを示している。100%に近づくほうが望ましい。 |

事業活動収支計算書関係財務比率

- | | |
|--------------|---|
| ① 人件費比率 | 人件費の経常収入に対する割合を示す重要な比率。この比率が特に高くなると経常支出全体を大きく膨張させ、経常収支の悪化を招きやすい。また、いったん上昇した人件費比率の低下を図ることは容易ではない。 |
| ② 教育研究経費比率 | 教育研究経費の経常収入に対する割合。高い値がよいが、経常収支の均衡を崩さない程度であればよい。 |
| ③ 医療経費比率 | 医療経費の経常収入に対する割合。高度な医療を提供することで、どうしても医療経費が高くなるが、効率を考えると当然低い値がよい。 |
| ④ 借入金等利息比率 | 借入金等利息の経常収入に対する割合。低い値がよい。 |
| ⑤ 基本金組入後収支比率 | 事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率である。一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、臨時的な固定資産の取得等による基本金組入れが著しく大きい年度において一時的に急上昇することがあり、基本金の組入状況及びその内容を考慮して分析する必要がある。 |
| ⑥ 学生生徒等納付金比率 | 学生生徒等納付金の経常収入に占める割合である。安定的に推移することが望ましいが、一概に高い値がよいとか低い値がよいとかはいえない。ただ、高水準で納付金に依存するよりは相対的にこの比率が低いほうがよい場合もある。 |
| ⑦ 事業活動収支差額比率 | 事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合であり、この比率がプラスで大きくなるほど自己資金は充実されていることになり、経営に余裕があるものとみなすことができる。この比率がマイナスになる場合は、当年度の事業活動収入で事業活動支出を賄うことができないことを示し、基本金組入前で既に事業活動支出超過の状況にある。マイナスが大きくなるほど経営は窮迫し、いずれ資金繰りにも困難をきたすこととなる。 |

表6
キャッシュ・フローの推移

(単位:千円)

区分	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1. 教育研究活動によるキャッシュ・フロー					
学生納付金収入	7,638,567	7,670,667	7,571,947	7,526,898	7,439,940
手数料収入	271,828	219,818	226,379	195,836	200,796
寄付金収入	2,140,310	708,252	736,266	736,119	735,863
補助金収入	2,345,915	2,688,439	2,402,797	4,030,573	6,325,982
受取利息・資産運用収入	217,360	121,261	56,375	117,803	148,672
事業収入	1,456,523	1,559,895	1,672,835	1,751,276	1,656,141
医療収入	40,384,930	41,578,675	44,150,492	43,211,320	44,265,500
雑収入	709,060	850,754	568,459	437,700	799,410
前受金収入	1,179,517	1,096,286	2,384,715	2,459,381	1,115,202
その他の収入	8,193,417	9,004,160	8,931,514	9,223,904	10,339,431
資金収入調整勘定(注1)	△ 10,195,325	△ 10,107,037	△ 10,332,421	△ 11,472,801	△ 11,390,447
小計 (1)	54,342,102	55,391,170	58,369,358	58,218,009	61,636,490
人件費支出	22,928,204	23,136,894	22,761,901	23,341,624	23,658,192
教育研究経費支出	23,141,676	25,211,560	25,703,922	24,915,732	26,490,608
教育研究経費支出	3,842,758	4,235,448	3,177,773	2,923,676	3,340,334
医療経費支出	19,298,918	20,976,112	22,526,148	21,992,057	23,150,275
管理経費支出	1,495,195	1,402,910	1,258,175	1,420,577	1,399,699
借入金等利息支出	46,453	43,784	38,436	34,451	31,188
その他の支出	9,214,639	8,010,418	8,076,898	6,731,104	6,298,253
資金支出調整勘定(注2)	△ 7,905,634	△ 8,171,503	△ 7,025,409	△ 6,183,581	△ 7,378,948
小計 (2)	48,920,533	49,634,063	50,813,923	50,259,907	50,498,992
教育研究活動による正味キャッシュ・フロー1 [(1)-(2)]	5,421,569	5,757,107	7,555,435	7,958,102	11,137,498
2. 施設等整備活動によるキャッシュ・フロー					
資産売却収入(動産・不動産売却収入)	6,470	0	85,100	0	0
小計 (3)	6,470	0	85,100	0	0
施設関係支出	4,122,965	621,886	1,936,838	1,602,474	702,639
設備関係支出	2,176,078	1,719,311	2,512,529	2,155,833	1,449,746
小計 (4)	6,299,043	2,341,197	4,449,367	3,758,307	2,152,385
施設等整備活動によるキャッシュ・フロー2 [(3)-(4)]	△ 6,292,573	△ 2,341,197	△ 4,364,267	△ 3,758,307	△ 2,152,385
事業正味キャッシュ・フロー(1+2)	△ 871,004	3,415,910	3,191,168	4,199,795	8,985,113
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー					
短期借入金純増加額	19,401	44,713	58,371	△ 39,834	52,635
長期借入金収入	5,000,000	0	0	891,000	0
長期借入金返済支出	1,022,530	935,570	875,593	1,190,870	670,490
小計 (5)	3,996,871	△ 890,857	△ 817,222	△ 339,704	△ 617,855
有価証券売却収入	2,131,830	1,000,000	1,512,345	6,049,318	3,225,228
有価証券購入支出	0	3,406,297	4,292,560	8,910,890	10,800,000
小計 (6)	2,131,830	△ 2,406,297	△ 2,780,215	△ 2,861,572	△ 7,574,772
その他の収入	45,759	57,874	50,595	121,094	85,551
その他の支出	356,430	331,355	329,795	351,460	354,734
小計 (7)	△ 310,671	△ 273,481	△ 279,200	△ 230,366	△ 269,183
引当資産から支払資金へ	0	0	0	2,376	9,704
支払資金から引当資産へ	200,000	714,810	500,000	505,973	0
小計 (8)	△ 200,000	△ 714,810	△ 500,000	△ 503,597	9,704
財務活動によるキャッシュ・フロー3 [(5)+(6)+(7)+(8)]	5,618,030	△ 4,285,445	△ 4,376,637	△ 3,935,239	△ 8,452,106
繰越支払資金の増加額 A (1+2+3)	4,747,026	△ 869,535	△ 1,185,469	264,556	533,007
前年度繰越支払資金 B	10,344,247	15,091,273	14,221,738	13,036,269	13,300,825
次年度繰越支払資金 (A+B)	15,091,273	14,221,738	13,036,269	13,300,825	13,833,832

注1. 資金収入調整勘定: 前期末前受金、期末未収入金

注2. 資金支出調整勘定: 前期末前払金、期末未払金、期末長期未払金

財産目録

I 資産総額	110,658,830,585 円
内 基本財産	70,866,016,669 円
運用財産	39,792,813,916 円
収益事業用財産	0 円
II 負債総額	29,178,281,588 円
III 正味財産	81,480,548,997 円

区分	金額
資産額	
1 基本財産	70,866,016,669 円
土地	155,415.57 m ² 15,585,027,616 円
建物	241,278.27 m ² 33,707,489,526 円
図書	74,624 冊 378,011,552 円
教具・校具・備品	19,281 点 8,047,802,178 円
その他	13,147,685,797 円
2 運用財産	39,792,813,916 円
現金預金	13,833,832,063 円
その他	25,958,981,853 円
3 収益事業用財産	0 円
資産総額	110,658,830,585 円
負債額	
1 固定負債	19,208,475,217 円
長期借入金	9,239,287,000 円
その他	9,969,188,217 円
2 流動負債	9,969,806,371 円
短期借入金	913,970,509 円
その他	9,055,835,862 円
負債総額	29,178,281,588 円
正味財産(資産総額－負債総額)	81,480,548,997 円

※1 基本財産: 学校法人の設置する私立学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金

※2 運用財産: 学校法人の設置する私立学校の経営に必要な財産

2021年度監事監査報告書

2022年5月26日

学校法人 兵庫医科大学
理 事 会 御中
評 議 員 会 御中

監 事

森田 泰夫 

監 事

正木 義博 

監 事

後藤 研了 

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人兵庫医科大学寄附行為第17条の規定に基づき、学校法人兵庫医科大学監事監査規程(以下「監事監査規程」という)により、学校法人兵庫医科大学の2021年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。その方法及び結果について以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法

私たちは監査にあたり、常務会、経営常務会、理事会、評議員会及びその他重要会議に出席するほか、2021年度監事監査計画で取り上げた各キャンパスにおける業務の状況について、各担当理事その他からの状況の聴取または書面提出及び内部監査室から内部監査の報告の聴取並びに私立学校振興助成法第14条3項の規定に基づく会計監査を実施している監査法人から、監査の実施状況及びその結果について報告を受け、さらに、学校法人の業務並びに財産の状況について意見を述べるに当たり、必要と認めた監査手続を監事監査規程に基づき実施しました。

2. 監査の結果

学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表並びに財産目録等は、会計帳簿の記録と合致し、その収支及び財産の状況を、事業報告書は学校法人の状況を適切に表示しており、業務又は財産に関する不正の行為、または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上

学校法人 兵庫医科大学

2021 年度 事業報告書

発行日 : 2022 年 6 月 24 日

発 行 : 学校法人 兵庫医科大学

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1

TEL. 0798-45-6111(代)

編 集 : 学校法人兵庫医科大学 総務部総務課
